

(1)

一
報



5221-1

2106

E-0533

00 10

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

電信課長

大臣 官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文報 調查 人事 儀典

寫送先

本邦令此子

昭和13 一三三五 平 紐育 一月十七日後發 情、亞、通、米
本省 十八日前着

廣田外務大臣

若杉總領事

第一五號

十六日紐育「タイムス」ハ滿洲重工業開發株式會社金融ニ關スル「
パトソン、クレイン」ノ長文ノ記事ヲ掲載シタルカ其ノ大要左ノ如シ
日本實業界ハ同會社ノ要スヘキ機械類其ノ他ノ資本財購入ノ爲五千
萬弗ノ「クレヂット」ヲ設定セント工作シツアリ「トーマス、ワ
ットソン」(International Business Machines Corp. 社長)
ニ「アプローチ」セル趣ナルカ右提案ニ關心ヲ持チ居ル當地金融筋
ノ得タル情報ニ依レハ右新設會社ハ客年十月二十二日日本政府閣議

外務省



5221-1

2107

E-0533



電信課長

大臣

次官

東亞

歐洲

米洲

通商

條約

情報

文書

調査

人事

儀典

文書

秘書官

送先

分類 E 2.2.1.3

本信寫挿入先

門	項	目	號
1	5	0	2

昭和13 一三三五 平 紐育 一月十七日後發 情、亞、通、米

本省 十八日前着

廣田外務大臣 若杉總領事

第一五號

十六日紐育「タイムス」ハ滿洲重工業開發株式會社金融ニ關スル「
 パートン、クレイン」ノ長文ノ記事ヲ掲載シタルカ其ノ大要左ノ如シ
 日本實業界ハ同會社ノ要スヘキ機械類其ノ他ノ資本財購入ノ爲五千
 萬弗ノ「クレヂット」ヲ設定セント工作シツツアリ「トーマス、ワ
 ットソン」(International Business Machines Corp 社長)

セル趣ナルカ右提案ニ關心ヲ持チ居ル當地金融筋
 ハ右新設會社ハ客年十月二十二日日本政府閣議

外務省



5221-1

2107

E-0533

0012

ノ結果成立セルモノニテ右閣議ニ於テハ杉山陸相ハ從來ノ滿洲ニ於テ國家社會主義ヲ建設セントシタル軍部ノ政策誤謬ヲ認メ(タル)結果閣議ハ滿洲重用工業ヲ國家ニ依リ支配スル特殊會社ノ支配下ニ置クノ政策ヲ排シ之ヲ私資本ニ開放スル政策ヲ決シタル趣ナリ從テ右新設會社ハ一見特殊會社ノ如ク見ユルモ支配者ハ私資本ニシテ日本政治家ハ此ノ政策變更ヲ目シ滿洲國ニ於ケル門戶開放ノ復活ヲ觀察シ居ル程ナリ尙先頃爲サレタル鮎川提案ハ單ニ米金融界ニ探リヲ入レタルニ過キサリシヲ以テ米國側ノ與フヘキ信用ニ對スル日本側ノ支拂ニハ爲替管理法ハ適用セザルヘキ日本政府ノ保障ノ外ハ何等細目ニ亘ル條件ハ明示サレ居ラサリシモ今回提案ハ米國側技術家ヲ機械据付ニ雇傭シ日本側技術家カ習得スル迄使用法ヲ教授スルコト

外務省

S 5221-1 2108

等ノ細目ヲモ含ミ居ル由ナリ云々
右記事ハ當地輿論ニ相當反響アリシモノノ如ク十六日夜「コロムビヤ」プロトドカスチング「システム」時事問題定期放送中「ラオレイン」コメント「ター」「ガ」ルテレポーン」ハ右ニ關シ皮肉ナル冷笑的「コメント」ヲ爲シタリ
米ニ轉電セリ

外務省

S 5221-1 2109

E-0533

0013

電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文化 調査 人事 儀典 文書 會計 會社 秘書官

寫送先

昭和13 一四四三 平 紐育 一月十八日後發

本省 十九日前着

情、亞、
通、米

廣田外務大臣

若杉總領事

第一六號

往電第一五號ニ關シ

本十八日紐育「タイムズ」ハ冒頭往電記事ニ對スル華府官邊筋ノ反響トシテ要領左ノ如キ華府特電ヲ掲載シ居レリ

右「ニュース」ニ接シタル華府政府筋ノ「オフハンド」ノ判斷ニ依レハ政府ハ斯ル種類ノ信用供與ニ對シテハ關係日本側會社ノ種類購入サルヘキ物品、記入アルヘキ額ノ如何ニ拘ラス反對ナルヘク斯ル企カ成功セサルヘキハ疑フ餘地ナシト爲シ居レリ國務省筋ハ米國金

分類

外務省



5221-1

2110

融家側カ正式ニ國務省側ノ注意ヲ喚起スルニ至ル迄ハ態度ヲ表明セスト述ヘ居リ議會筋ハ政府カ正式ニ態度ヲ決定スル迄ハ意見ノ表明ハ好マサルモ議會ニ關スル限りハ一般ニ斯ル提案ニハ好意ヲ寄セ難シトスルニアリ日本實業家側ノ活動カ暴露サレタル結果現在下院外交委員會ニ係リ居ル不戰條約違反國トノ金融取引禁止權限ヲ大統領ニ與ヘントノ決議案ニ對スル一部議員ノ注意ハ喚起サレタルモ現在ノ所ハ下院「リーダー」カ政府ノ態度カ右決議案ノ趣旨ト一致シ居リ且國務省側カ最大限ノ自由裁量ヲ要求シ居ルニモ鑑ミ近キ將來ニ於テ具體的ニ成立スルトハ思ハレス然レトモ若シ斯ル日本側工作カ成功スルニ於テハ重大考慮ノ與ヘラルヘキハ豫想サルル所ナリ云々



5221-1

2111

外務省

E-0533

0014

電信課長

大臣

官

東亞

歐亞

米洲

通商

條約

情報

文書

調査

人事

儀典

文書

寫送先

分類 E 2-2-1.3

名件
本二初令
一月十九日後發
廿日
米

情、亞、通

記

昭和13 一五七〇 平

紐育 一月十九日後發

米

廣田外務大臣

若杉總領事

第一八號

往電第一五號及第一六號ニ關シ

十九日「ニューヨーク、タイムズ」ハ「トーマス、ワツソン」ハ冒

頭往電ノ新聞報道ニ關シ「インターナショナル、チャンパー、オズ

コンマース」及「インターナショナル、ビジネス、マシーンス、コ

ーポレーション」トシテハ「ワツソン」ハ前者ノ會長、後者ノ社

長ナリ。假令正式ニ報道ノ如キ日本側提案ヲ受クルモ考慮ノ餘地ナ

カルヘク兩者ハ如何ナル形ニ於テモ斯カル種類ノ金融ニハ參加セサ

外務省

S 5221-1 2112

ルヘキ旨聲明セル趣報シ居レリ
米ニ郵送セリ

外務省

S 5221-1 2113

E-0533

0015

電信課長 森

大臣 官

東亞 歐洲 米洲 通商 條約 情報 文化 調查 儀典 文書 會計 會社 秘書官

寫送先

昭和13 五二四九 略

天津 二月廿四日後發
本省 廿四日後着

堀内總領事

通

廣田外務大臣

第二二四號

通商局長へ

原惣兵衛出願ニカカル京津不動産管理株式會社ノ登記及營業許可方
ノ件ハ原以下六名ノ發起人(支那人二名ヲ含ム)全部ノ身許及信用
調査ニ手間取りシモ二十二日完了セルカ大体ニ於テ不都合ノ點ナク
又現ニ營業中ノ不動産賣買信託業者三者ニ對スル大ナル影響モ認メ
ラレス目下出願中ノ他ノ二者ト比較スルモ左シテ素質不良ナラサル
ニ付許可ノ手配濟
右原へ御傳へ請フ(了)

分類 E 2-2-1.3

名件 本邦合記子系

外務省

S 5221-1 2114

通商局

總務課

亞米利加局

分類 E 2-2-1.3

歐亞局

拓南第一七八號

昭和十三年三月二十四日

拓務省拓務局長 安井 誠一郎

外務省歐亞局長 井上 庚二郎 殿

「南洋ニ於ケル邦人企業會社調(一) 送附ニ關スル件」

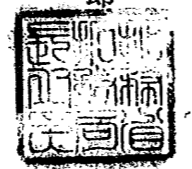
標記ノ件ニ關シ今般別紙ノ通り取繼メタルニ付何等御參考迄ニ五
部送附ス

一部送五三ニ據ルハ本邦合記子系

拓務省

名件 本邦合記子系

昭和十三年三月廿四日



CH本標準規格 B.6)

S 5221-1 2115

E-0533

0016

極秘

昭和十三年二月

南洋ニ於ケル邦人企業會社調 (一)

拓務局南洋課



5221-1

2116

E-0533

0017

凡例

一、本書ハ南洋ニ於ケル邦人企業ノ重大性ニ鑑ミ其ノ企業狀況ヲ明カニシ以テ關係各方面ノ資料ニ供センガ爲當南洋課ニ於テ左ノ項目別ニ調査シ謄寫セルモノナリ

(一)イ、名稱

ロ、所在地

ハ、事業地

ニ、資本金

ホ、取得セル利權ノ内容

租借面積 租借年限等

ヘ、當該企業ニ關係セル本邦人數

ト、過去三ケ年間ノ生産額及本邦向輸出額

(二)會社役員數

(イ)昭和十三年度本邦向輸出見込額

(ロ)本邦ニ於ケル事務所並ニ代表者

(ハ)其ノ他參考トナルベキ事項

ニ、本書ヲ「極秘」トセルハ當ニ當業者ヨリノ希望ノミナラズ國際關係甚ダ複雑機微ナル今日之ガ外部ヘノ不要ナル漏洩ヲ慮レルガ爲ナリ

備考

本社、支社彼地ニノミ在ル會社ヨリノ回答未着ノ分アレド不取敢本書ヲ「南洋ニ於ケル邦人企業會社調」トシ各關係會社ノ回答集リ次第取繼メ其ノ(一)ヲ謄寫ニ附スル手筈ナリ

S 5221-1

2118

S 5221-1

2117

E-0533

0018

目次

日本産業護謨株式会社 3
 昭和護謨株式会社 5
 株式會社 馬來護謨公司 6
 熱帶産業株式会社 8
 南洋護謨株式会社 9
 南洋護謨拓殖株式会社 10
 スマトラ拓殖株式会社 11
 東山農事株式会社 12
 大倉スマトラ農場 13
 ボルネオ護謨株式会社 15
 野村東印度殖産株式会社 16

16 15 13 12 11 10 9 8 6 5 3頁

S 5221-1 2119

古河合名會社 19
 南國産業株式会社 20
 南洋興發株式会社 22
 チカネリ栽培株式会社 25
 蘭拓護謨園 28
 株式會社 日沙商會 29
 シヨホール護謨園 31
 タワオ・エステート・リミテッド 33
 ボルネオ殖産株式会社 35
 南洋企業株式会社 36
 古川拓殖株式會社 37
 南ミンダナオ農業株式會社 39

39 37 36 35 33 31 29 28 25 22 20 19頁

S 5221-1 2120


E-0533


0019

南洋農産株式会社
ラビリパー拓殖株式会社
マヌエル興業株式会社
メルセデス拓殖株式会社
ラミタン・プランテーション
比律賓木材輸出株式会社
タチヤン商事株式会社
テイブニコ木材株式会社
ガルフ木材株式会社
キングー木材株式会社
ミンドロ木材會社
スマギー木材株式会社

ボルネオ物産商會
株式會社 住友商店
日比企業株式會社
南洋林業株式會社
南洋水産株式會社
ボルネオ水産株式會社
南洋鐵礦株式會社
大洋鐵業株式會社
三菱商事株式會社
南太平洋貿易株式會社
金貨スリヤス會社比島インゴレトド
パリンタワツク麥酒株式會社

72 71 68 67 66 65 63 62 61 60 59 57 頁
55 54 52 51 49 48 45 44 43 42 41 40

 5221-1 2122

 5221-1 2121

E-0533

0020

日本産業建設株式会社
 所在地 東京市芝區田村町一ノ二
 事務所 英領北ボルネオ、タワヤ及馬來半島シボル

資本金 壹千萬圓
 取得七ノ利權ノ内容

租借面積 三四・三七一英加
 租借年限 租借面積ノ大部分ハ九百九十九ヶ年ノ租借年限ナ
 レ共、其ノ内一部九十九ヶ年ノモノヲ含ム
 租借料 昭和十二年度レント支拂額

森林伐採輸出權 銀五萬九千弗ハ、推歐殖民地道賃一
 英領北ボルネオ、タワヤ附近ノ森林ヲ伐採シ之ヲ

輸出スルノ權利ヲ獲得ス

當該企業ニ關係セシ本邦人數

過去三ヶ年間ノ生産額及本邦向輸出額

年	生産量	金額	本邦向輸出量	金額
昭和十年	四八九〇五 ^{封度}	三〇二四六七 ^圓	二六六三〇七 ^{封度}	二一三二六三 ^圓
昭和十一年	四五五九七一	二五〇三二八五	三〇二九四三五	一六七三三四七
昭和十二年	六七三〇〇〇	四二一、八六七	三九〇七四三	二六〇、一六五

マニラ

年	生産量	金額	本邦向輸出量	金額
昭和十年	二四九五 ^{ピクル}	五、九二一 ^圓	二二三八 ^{ピクル}	四六五七 ^圓
昭和十一年	三二四七	九四一六三	三六四二	一〇六六五六
昭和十二年	七二八六	二三九八五四	六九〇〇	二二八二七四

S 5221-1 2124

83 S 5221-1 2123

E-0533

0021

木材（ラワン材）

年	生産量	金額	本邦向輸出量	金額
昭和十年	三〇九六二石	八三八五二圓	四四〇四九石	一六八九六八圓
昭和十一年	五五七〇一	二二二八九圓	五五三二七	二八五〇三二
昭和十二年	七〇九二一	四〇六〇四九	七二三二四	四一七三五四

2125

ラワン材

年	生産量	金額	本邦向輸出量	金額
昭和十年	四〇三二 <small>ピクル</small>	四〇二一六圓	三一四二 <small>ピクル</small>	三一三一六圓
昭和十一年	七五六〇	八三三三九	七〇六二	七八三五九
昭和十二年	一五一二〇	二三〇六五六	一五七八七	二三九三二八

4

三 會社役員數 取締役 五名、監査役 三名、計八名、全部邦人

三 昭和十三年度本邦向輸出量豫想

品名	數	金額（内地着値）
生ゴム	四四四〇〇〇封度	二二二〇〇〇圓
マニラ麻	三一〇〇〇 <small>ピクル</small>	九三〇〇〇
ラワン材	七二〇〇〇石	七二〇〇〇
コブラ	一六八〇〇 <small>ピクル</small>	二五三〇〇

2126

四 本邦ニ於ケル事務所 所在地ニ全ジ

代表者 下河邊 建 二

5221-1



E-0533

0022

昭和謄誤株式會社

一名 釋 昭和謄誤株式會社

所在地 東京市京橋區京橋二ノ八明葉ビル

事業地 英領馬來半島シロネール及蘭領印度スマトラ島

資本金 壹千圓

取得セル和權ノ内容

馬來半島シロネール農場 永租借地權 一三、二五六英反

蘭領印度スマトラ農場 " 一五〇一四英反

當該企業ニ關係セル本邦人數

シロネール農場 邦人従業員 二五名

スマトラ農場 " 七名

年生產力

兩農場ヲ合シ一ヶ年謄誤 五百萬封度

三會社役員數 社長一名 取締役三名 計四名、全部邦人

三昭和十三年度本邦向輸出見込額
四本邦ニ於ケル事務所所在地ニ合シ
代表者 法華津 孝 治



5221-1

2128

5



5221-1

2127

E-0533

0023

株式會社馬來護謨公司

一名稱 株式會社馬來護謨公司
 所在地 東京市麴町區大手町二丁目二番地日清生命館五二五號室
 事業地 馬來半島馬來聯邦州ネグリスミラン州スレンパン市
 資本金 公稱資本 四百七十萬圓
 取得セル利權ノ内容 永代地券(グラント)永久所有
 面積九三〇英反六四 地租壹英反ニ付一ヶ年銀四弗
 補付面積護謨園六九九七英反七七內生產面積五三九九英反
 七一

當該企業ニ關係セル本邦人數(昭和十二年九月卅日現在)

計	所在別		計
	本社	從業員	
六	一	五	九名
一六	一三	三	一九名
六	五	一	二八名

過去三年間ノ生產額

期別	期間	半期生產額	一ヶ年生產額
第四十五期	自昭和九年十月一日至同十年三月卅一日	一〇五三〇二四 _{封度}	一、九七九八二八 _{封度}
第四十六期	自昭和十年四月一日至同十一年九月卅一日	九二六八〇四	
第四十七期	自昭和十一年十月一日至同十二年三月卅一日	八二四六〇四	
第四十八期	自昭和十二年四月一日至同十三年九月卅一日	九一二六〇二	一、七三七二〇六
第四十九期	自昭和十三年十月一日至同十四年三月卅一日	一〇八、八七六	
第五十期	自昭和十四年四月一日至同十五年九月卅一日	一二六、九三四	三、三四三、八一〇
計			六〇六〇、八四四 _{封度}

現品本邦向輸出直接取扱ハズ
 三會社役員數 六名 外人役員ナシ
 三昭和十三年度本邦向輸出額 護謨四百五拾噸

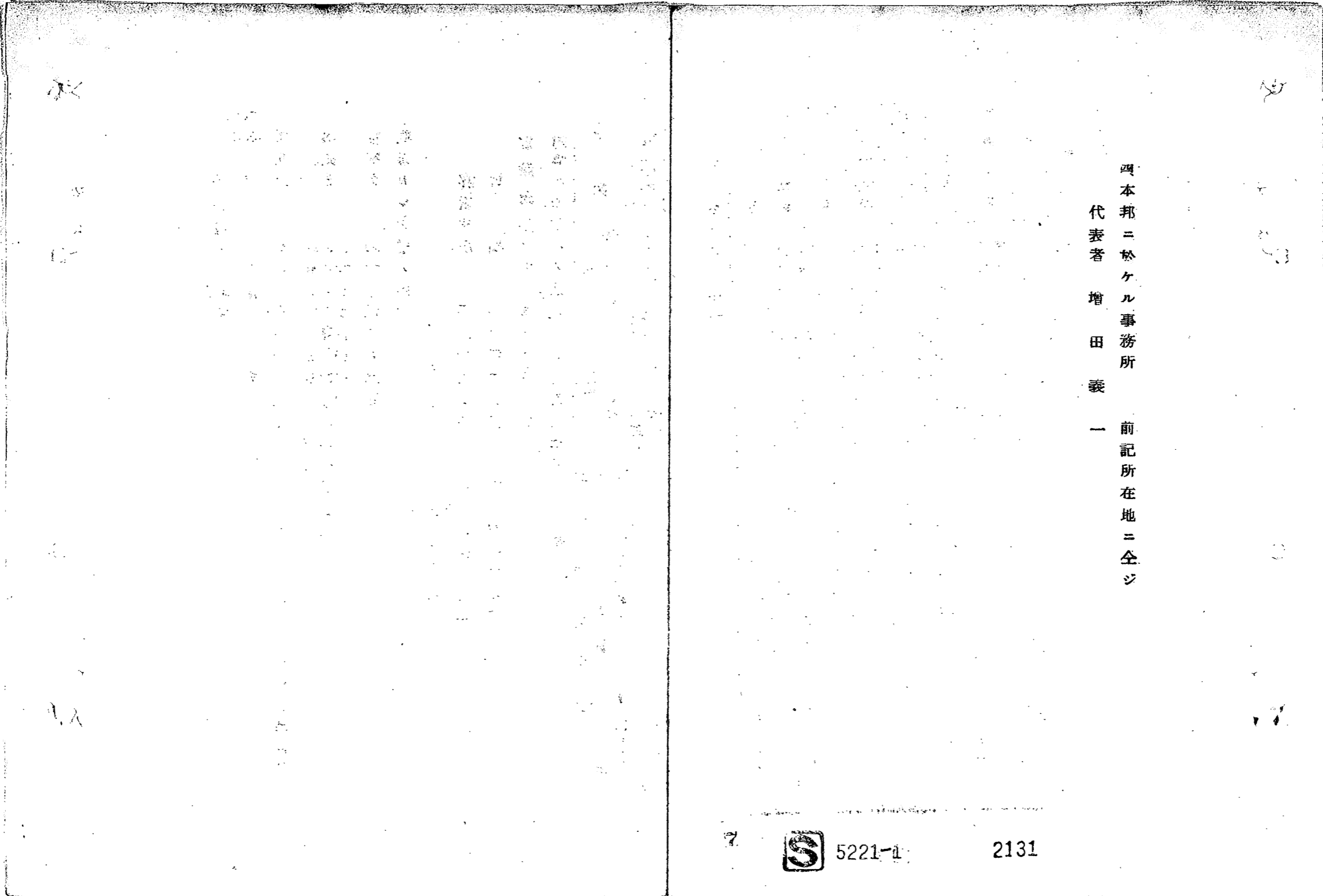
5221-1

2130

6

5221-1

2129



西本邦ニ於ケル事務所
代表者 増田 義一
前記所在地ニ全ジ

7



5221-1

2131

E-0533

0025

熱帯産業株式会社

一、名稱 熱帯産業株式会社
 所在地 東京市日本橋區室町二丁目一番地一(三井三號館五階)
 事業地 馬來半島、ジャバ、パヤ、ライ、ボン、スマトラ、島、ジャ、ン、ビ
 資本金 約六百貳拾五萬圓
 取得セル利權ノ内容 セナイ スマトラ

存續年限 平均約七十年 平均約四十八年
 面積 六六〇一英反 一〇六五〇英反

當該企業ニ關係セル本邦人數 一六名

過去三ヶ年間に生産及本邦向輸出額

年次	生産		本邦向輸出額	
	セナイ	スマトラ	數量	價額
昭和十年	九八三四六三	一三五一〇二	一	一
十一年	七九七五〇八	一六九五三一	一	一
十二年	一三〇〇九三二	二八五一五二	一	一
計	三〇八〇八九三	五八九七八五	一、〇〇七	九〇八一二

三、會社役員數

三、昭和十三年度本邦向輸出見込額

一五〇噸(三三六、〇〇〇封度)約二〇〇、〇〇〇圓

四、本邦ニ於ケル事務所所在地ニ全シ

代表者 賀來 佐賀 太郎

S 5221-1

2133

8

S 5221-1

2132

E-0533

0026

南洋護謨株式会社

一、名稱 南洋護謨株式会社
 所在地 東京市麹町區丸ノ内二丁目八番地
 事業地 馬來半島ジヨネール州コタテンギ、パンチヨール楠林地
 全 全 タルアン、タルアン楠林地
 スマトラ島東海岸州パトバラ、タナヒタムヒリル楠林地
 資本金 貳百萬圓
 取得セル利權ノ内容
 租借年限 エルフワクト 九百九十九年
 (コンセツシヨシ 七十五年)
 現在租借總面積 七二九二四〇 英反
 當該企業ニ關係セル本邦人數 一三名
 過去三年間ノ生産額及本邦向輸出額 一三三
 生産額

2134

5221-1

9

昭和九年 一六六四〇四七封度
 昭和十年 一三五四六八九
 昭和十一年 一三三三四六二
 註一九三四年六月ヨリ國際生産制限成立ニヨリ生産ノ制限ヲ受

2135

本邦向輸出 ナシ
 三、會社役員數 取締役四名 監査役二名計六名、全部邦人
 三、昭和十三年度ニ於ケル本邦向輸出見込額
 護謨製品五百噸 金額 (一封度邦貨) 金六拾七萬貳千圓
 (六十錢替)
 四、本邦ニ於ケル事務所 所在地ニ全ジ
 代表者 藤田軍太

5221-1

S

E-0533

0027

南洋護謨殖株式會社

一名稱 南洋護謨殖株式會社

所在地 大阪市北區堂島北町三六

事業地 馬來半島柔佛王國ダンジョンランサ

企業資金 三〇〇〇〇〇圓

取得セル利權ノ内容

事業地租借期間 一九一二年ヨリ九拾九ケ年間

租借總面積 一、九五一英加

當該企業ニ關係セル本邦人數

事業地ニ於ケル本邦人従業員四名 家族十五名

過去三年間生産額

昭和九年 三一四、四〇五封度 金一二六、三二六圓

昭和十年 三〇四、〇五三封度 金一一九、八二六圓

昭和十一年 二九九、一三〇封度 金一九〇、九〇九圓

二會社役員數 ナシ

三昭和十三年度本邦向輸出 ナシ

四本邦ニ於ケル事務所 所在地ニ全ジ

代表者 上田彌兵衛

五其ノ他參考トナルベキ事項

十三年度本邦向輸出ハ無爲齎輸入許可指令アレバ五拾噸輸入希望ナ



5221-1

2137



5221-1

2136

スマトラ拓殖株式会社

一名 稱 スマトラ拓殖株式会社

所在地 東京市麹町區丸ノ内二ノ二 丸ビル三階

事業地 スマトラ島 東海岸州 シダロンダン

アヂエー州 東海岸ビルン

資本金 八百萬圓

取得セル利權ノ内容

利權存續年限 七十五ヶ年

租借面積 一四、〇六一英加五二九

條件 五十ヶ年毎ニ權和繼承ノ手續ヲナシ保持スルコトヲ得

權付面積 四、七四七英加五五五 (昭和十二年)

生産面積 二、五五三英加 (昭和十二年)

當該企業ニ關係セル本邦人數 七名

過去三ヶ年間ノ生産額及邦向輸出額

生産額 (昭和十、十一、十二年度) 四、八二七、六二九封度

本邦向輸出 ナシ

三會社役員數 取締役 三名、監査役 二名、全部邦人

三昭和十三年度本邦向輸出額豫想 ナシ

本邦ニ於ケル事務所 所在地ニ全ジ

代表者 山地 土佐太郎



5221-1

2139



5221-1

2138

E-0533

0029

東山農事株式會社

一名 稱 東山農事株式會社

所在地 スマトラ東海岸州ラブアンピリ

事業地 同上

資本金 蘭印貨四百萬盾

取得セル利權ノ内容

地 權 エルフパハト(世襲借地權)

存續年限 一九三一年ヨリ七拾五年間

面積 三、五三九、七ヘクタ

當該企業ニ關係セル本邦人數 一名

過去三年間ニ於ケル生産額及本邦向輸出額

生産該 パームオイル 三九八噸(昭和十二年五月ヨリ十一月末迄)

本邦向輸出額

ナシ

註 當社ノ生産品ハパームオイルノミニシテ本年五月ヨリ生産開始セルモノナリ

三 會社役員數 取締役二名 監査役二名 計四名 全部邦人

三 昭和十三年度本邦向輸出額

生産額ハ大部分歐米へ輸出スルモノトシ目下ノ處本邦向輸出ノ豫定ナシ

四 本邦ニ於ケル事務所

東京市麴町區丸ノ内二丁目拾四番地

代表者 岩 崎 隆 彌



5221-1

2141

12



5221-1

2140

E-0533

0030

大倉スマトラ農場

一名 大倉スマトラ農場
 所在地 東京市京橋區銀座二丁目二番地ノ九大倉本館内
 事業地 蘭領印度スマトラ東海岸州パカンバロ
 資本金 貳百萬圓
 取得セル利權ノ内容

租借面積 五萬六百九十英加

租借年限 七十五ヶ年更ニ七十五ヶ年延長ノ許可ヲ得

ラール條件

當該企業ニ關係セル本邦人數

從業員 邦人五名 土人約三〇〇名

過去三ヶ年間ノ生産額及本邦向輸出額

當該農場ハ昭和五年四月開墾作業ニ着手、昭和六年ヨリ謄謨樹並ニ油椰子樹ノ植付ヲ開始シ昭和八年三月ニ現在ノ總植林地三、三六八英加ヲ完了セリ。而シテ昭和十三年ヨリ生産期ニ入ルヲ以テ目下工

場建設準備中ナリ

第二期計畫トシテ工場建設完了後生産期ニ入リタル上ハ收益ノ一部

ヲ以テ毎年一定面積宛ノ植林地擴張ヲ實施スル豫定ナリ

三、會社役員數 取締役 六名 監査役 四名 計十名 全部邦人

三、昭和十三年度本邦向輸出見込額

昭和十三年ヨリ謄謨樹及油椰子樹共生産期ニ入ルモ目下工場建設準備中ニテ豫定通り建設工事進行シテ昭和十四年六月完成七月ヨリ生産開始ノ見込ナリ、依テ昭和十三年度ニ於ケル輸出物全クナシ

四、本邦ニ於ケル事務所 所在地ニ同ジ

五、其ノ他参考トナルベキ事項

昭和十四年七月生産開始十二月マデ半年間ノ收穫見込量

種別	收穫見込量	新嘉坡市價
椰子油	六七〇噸	一八〇弗
仁	一三四〃	一二〇六〇〇弗
謄謨	二五〃	一四七四〇〃
		一三四二五〃

5221-1

2143

13

5221-1

2142

E-0533

0031

合計 日銀換算 二〇二圓 金參拾萬五百五圓參拾錢 一四八七六五弗

昭和十五年一ヶ年收穫見込量

種別	收穫見込量	新嘉坡市價	輸出金額
椰子油	一九〇〇噸	一八〇弗	三四三〇〇〇弗
仁	三八〇〃	一一〇〃	四一、八〇〇〃
護謨	七五〃	五三七〃	四〇、二七五〃
合計			四二四〇七五弗

日金換算 二〇二圓 金八拾五萬六千六百參拾壹圓五拾錢

以後年々増産二、三年後ノ最盛期ニ於ケル年産收穫見込量

種別	收穫見込量	新嘉坡市價	
椰子油	三〇〇〇噸	一八〇弗	五四〇〇〇〇弗
仁	六〇〇〃	一一〇〃	六六〇〇〇〃
護謨	一二〇〃	五三七〃	六四〇〇〇〃
合計			六七〇、四四〇弗

14 S 5221-1 2144

日金換算 二〇二圓 金百參拾五萬四千貳百八拾八圓八拾錢

上記製品ハ本邦及海外へ輸出スルモノナレドモ主トシテ海外向ケ輸出

品ナリ

S 5221-1 2145

E-0533

0032

ボルネオ護謨株式会社

一名 稱 ボルネオ護謨株式会社
 所在地 東京市麹町區丸ノ内參丁目六番地
 事業地 蘭領印度スマトラ
 資本金 五〇〇〇〇〇〇圓
 取得セル利権ノ内容

セマントウ園 農業租借權 三九七九英反 七五年租借
 トウラン子園 同 上 一五六〇英反
 バヤタンバ園 永借地權 五四三六英反
 當該企業ニ關係セル本邦人數 七人(在外員)
 過去三ヶ年ノ生産額
 昭和十年度 護謨 七四九七三七封度
 昭和十一年度 同 六六三、五七五
 昭和十二年度 同 八五六九八八
 本邦へ向ケ輸出セズ

二 會社役員數 取締役六名 監査役二名 計八名 全部邦人

三 昭和十三年度本邦同輸出見込額

年額 護謨 百五拾噸輸出ノ豫定

四 本邦ニ於ケル事務所所在地 同

代表者 横山 章

S 5221-1 2147

S 5221-1 2146 15

E-0533

0033

野村東印度殖産株式会社

名 稱 野村東印度殖産株式会社
 所在地 蘭領ボルネオ、バンヂヤルマシ市
 事業地 蘭領ボルネオ、マルダブーラ町附近
 全 邦 ンヂヤルマシ市
 全 スマトラ、バレンバン市
 全 フルラ町附近
 全 ニダチヤネ町附近

資本金 五百萬盾

取得セル利権ノ内容(面積ノ單位ハヘクタール)

	有權面積	植付面積	生産面積	許可噸數
ボルネオ保護園	七〇五二	三五〇九	三、四〇三	一
スマトラ保護園	四、八一八	一、八六七	一、六四六	一
スマトラ珈琲園	一、六二三	二六五	二六〇	一

ボルネオ 土人護謨精製工場	一	一	一	八六〇〇
スマトラ 土人護謨精製工場	一	一	一	四〇〇〇

當該企業ニ關係セル本邦人數

職名	支店	本社	其他	計
ボルネオ保護園	一	一	一	三
スマトラ油椰子園	一	一	一	三
スマトラ珈琲園	一	一	一	三
ボルネオ 土人護謨精製工場	二	二	一	五
スマトラ 土人護謨精製工場	一	一	一	三
其他 (出張所)	二	三	一	六
計	一三	六	三	二二

S 5221-1 2149

16 S 5221-1 2148

E-0533

0034

過去三年間ノ生産額及本邦向輸出額
過去三ヶ年間ノ生産額

	一九三五年度		一九三六年度		一九三七年度(推定)	
	生産量	金額	生産量	金額	生産量	金額
ボルネオ護謨園	九四一噸	九一三〇〇〇圓	一〇〇四噸	一〇六二〇〇〇圓	一〇四四噸	一〇八三〇〇〇圓
スマトラ油椰子園	核油 二〇四、 四〇九、	七三三〇〇〇	二五〇一、 四八三、	八八八〇〇〇	三〇〇〇、 五八〇、	一三〇〇〇〇
スマトラ珈琲園	四三九四噸	一〇五〇〇〇	四九六〇噸	一、一三〇〇〇	一、二〇〇噸	六五〇〇〇
ボルネオ 土人ゴム精製工場	七三七八噸	七〇六〇〇〇	七〇四二噸	一〇、二五三〇〇〇	八三〇〇噸	一、二八二〇〇〇
スマトラ 土人ゴム精製工場	一	一	一	一	一	一
計		六、六二〇〇〇圓		一、八二二〇〇〇圓		一、六八七〇〇〇圓

金額ハ ボルネオ護謨園ハ 封唐當 三五年四四錢 三六年六六錢
三七年七〇錢
土人ゴム精製工場ハ 封唐當 三五年四三錢 三六年六五錢

本邦向輸出額

ト各々日本港渡邦貨平均値段ノ計算トナセリ

	一九三五年度		一九三六年度		一九三七年度(推定)	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
ボルネオ護謨園	二三噸	一八〇〇〇圓	五八噸	六五〇〇〇圓	一四噸	二七〇〇〇圓
スマトラ油椰子園	核油 三二、 一	一〇〇〇〇	六七、 一	二四〇〇〇	一三、 一	三九〇〇〇
スマトラ珈琲園	五五五噸	六二〇〇〇	四五〇噸	一、二〇〇〇	五四六噸	一七〇〇〇
ボルネオ 土人ゴム精製工場	一五五噸	四一、〇〇〇	三一六噸	三一四〇〇〇	八三噸	一三五〇〇〇
計		二、三〇〇〇圓		四、一五〇〇〇圓		二、一八〇〇〇圓

三七年六九錢
油椰子園ハ キロ屯當油 三五年三四六圓 三六年三五五圓
三七年四一〇圓 核三五年一八二圓
三六年二二四圓 三七年二二二圓
珈琲園ハ 俄當 三五年二四圓 三六年二四圓 三七年
三六圓



5221-1

2151



5221-1

2150

E-0533

0035

金額ハ各々契約通止實際受取金高ナリ

三 會社役員數 (全部邦人)

取締役 五 (内社長、副社長各一)

監査役 一

三 昭和十三年度本邦向輸出希望額

護	八五〇噸	一、一〇〇、〇〇〇圓
油	一、〇〇〇噸	四〇〇、〇〇〇圓
珈琲	一、五〇〇俵	三六、〇〇〇圓

四 本邦ニ於ケル事務所

大阪市東區備後町二丁目二十一番地

野村海外事業部

代表者 野村 徳 七

五 其ノ他參考トナルベキ事項
第三項昭和十三年度本邦向輸出希望額ノ内護謨ハ弊社ノ日本内地ニ於ケ

ル購入物品其ノ他ノ立替拂及ビ本社出資金ノ一部回收等ノ爲メ無爲管輸
入(南洋栽培協會經由出願中)仕リ度ク、パーム油及珈琲ハ内地得意先
ノ需要ニ應ズル爲メ有爲管輸入仕リ度キモノニ御座候特ニ南洋産品
ハ從來支那人相手ノ由リカニ賣ニ有之候ヒシモ、日支事變以來亦イ
ツトニ遭ヒ、販賣ニ困難ヲ感ジツツアルニ鑑ミ、是非共日本向輸出可能
ナルヤウ希望仕リ候。

S 5221-1

2153

S 5221-1

2152

18

E-0533

0036

一名 稱 古河合名會社

所在地 東京市麴町區丸ノ内二ノ八

事業地 蘭領東印度リヤ洲パタム島

資本金 八三五、一四八圓（起業投資金）

取得セル利權ノ内容 六、〇〇〇英加

租借面積 六、〇〇〇英加

植付面積及生産面積 一、〇〇〇英加

生産可能面積（收穫シ得ルモノ）一、〇〇〇英加

實際生産面積（現ニ生産中ノモノ）六三〇英加

當該企業ニ關係セル本邦人数 五石

過去三年間ノ生産額及本邦向輸出額

年度	生産數量	生産額
昭和九年度	二一七七六〇 <small>封度</small>	八三二二九・五六
昭和十年度	二三三六八六	九〇一二二・〇二
昭和十一年度	一七四一〇五	九七三三八・〇三

生産品タル護謨ハ三井物産株式會社新嘉坡支店へ委託販賣シ本邦向輸出無シ

二 會社役員數 理事 七名 全部邦人

三 昭和十三年度本邦向輸出額豫想 製品ハ凡テ三井物産株式會社新嘉坡支店へ委託販賣スル爲豫想額ニシ

四 本邦ニ於ケル事務所 所在地ニ全ジ

代表者 古河虎之助

S 5221-1

2155

S 5221-1

2154

E-0533

0037

南國産業株式会社

二名 南國産業株式会社
 所在地 東京市麹町區丸ノ内三丁目四番地(有榮館)
 事業地 蘭領印度爪哇
 資本金 三、五〇〇、〇〇〇圓
 取得セル利権ノ内容
 經營農園ハ蘭領印度政府ヨリ七十五ヶ年間ノ永代借地ナリ
 借地總面積ハ三、四三、五〇〇ヘクタール
 當該企業ニ關係セル本邦人数(取締役ヲ含マズ)
 内地在勤 五名
 海外現業地在勤六名(内一名取締役兼務)

(1) 過去三年間ノ生産額及本邦同輸出額
 過去三年間ノ生産額
 昭和九年 一〇三、一三六
 昭和十年 七三、三九五七
 昭和十一年 五九、一五三〇
 護謄金生産額(盾) 二〇、四一五

茶	生産額(右全)	一六二、五五六	一三、八四〇	一、九二九	一、五九四
規那	生産額(右全)	九、九八〇	二、四九九	一、三〇二	一、〇五〇
珈琲	生産額(盾)	三、七五〇	三、五七三	二、四八七	二、一九七
胡椒	生産額(右全)	一、九五八	一、九四四	二、七五三	二、七五〇
合計金額		四、五三、三五八	四、五、二二二	五、三三、八〇四	

昭和九年	品名	數量(一担)	蘭貨(盾)	邦貨
昭和十年	紅茶	五〇一六	一、八七八	四、二五〇
昭和十一年	全	一、四二三八	四、八四〇	九、九〇八

S 5221-1

2157

S 5221-1

20

2156

E-0533

0038

右ハ當社直接輸入セルモノニシテ現業地ニ於テ販賣セルヲ買入ノ手ニ
テ輸入セラレタルハ不明

三 會社役員數

南國商事組合

取締役一名 邦人
監査役一名 全

サムホアセカ農園

取締役一名 邦人
監査役二名 内邦人一名

ウノサリ農園

取締役一名 邦人
監査役二名 内邦人一名

サングリ農園

取締役一名 邦人
監査役二名 内邦人一名

三 昭和十三年度ニ於ケル本邦向輸出見込額

現在ニ於テハ全ク見込立タズ

四 本邦ニ於ケル事務所所在地ニ全ジ

代表者 中 村 第 三 郎

2158

5221-1



21

E-0533

0039

南洋興發株式會社
 南洋興發株式會社
 所在地 本社 南洋群島チヤランカノア街
 ニュージーニア事務所 蘭領ニュージーニア、マノクワリ
 事業地 我國委任統治地南洋群島サイパン、テニアン、ロタ島及ボナ
 ペ島
 蘭領ニュージーニア
 補領チモール島

資本金 二千萬圓
 取得セル利権ノ内容

ニュージーニア關係
 租借地

種別	面積	租借年限	存續期間
農業租借地	三六〇	七五年	六一年

5221-1

2159

全許可保留地	九〇〇	短期契約	昭和十五年及十二年許可但長期七五年契約ニ變更可能見込
樹脂權利地	一〇〇		
樹脂權利地	三一、五〇〇	二〇年	九年
農事租借地	三〇	二〇年	九年
全許可保留地	三二〇〇	短期契約	昭和十年許可但長期七五年契約ニ變更可能見込

チモール關係

補領チモール島ニ於テ栽培及貿易業ヲ經營スル葡國商社 S. A. P. T
 (Sociedade Agricola Patria e Trabalho, Lda.)

ニ於テ株主トシテ加入シ資本金百五萬盾相當額ノ合辦會社ヲ設立シ内五十萬盾ニ相當スル權利ヲ獲得セリ(昭和十二年九月八日加入十五萬盾拂込済)

5221-1

2160

E-0533

0040

利権存續會社ノ存續期限面積及條件
 合辦會社ノ存續期限 無期限
 合辦會社ノ所有地面積 一萬五千八百ヘクタール
 合辦ノ條件 出資額ノ如何ニ係ラズ常ニ日本側五〇葡國側
 五五タルヲ要ス
 當該企業ニ關係セル本邦人數 二七名 但家族ヲ含マズ
 ニユ一ギニア關係 四名
 過去三ヶ年間ノ生産額及本邦向輸出額
 ニユ一ギニア關係

項目	昭和九年		昭和十年		昭和十一年		備考
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
樹脂	一一九〇擔	二二、三〇〇圓	五三五擔	一一、七〇〇圓	六〇〇擔	一三、三六〇圓	昭和十二年作付全額輸入
棉花					三五、四六八〇斤	二一、二八〇圓	

當該企業ニ關係セル本邦人數 二七名 但家族ヲ含マズ
 ニユ一ギニア關係 四名
 過去三ヶ年間ノ生産額及本邦向輸出額
 ニユ一ギニア關係

23 S 5221-1 2161

子ギール關係

項目	昭和十年		昭和十一年		昭和十二年		備考
	生産量	輸出量	生産量	輸出量	生産量	輸出量	
珈琲	二、三〇〇擔	一、一〇〇擔	一、三〇〇擔	三、九〇〇擔	三、二五〇擔	三、〇〇〇擔	生産品
カゴ、オム	若干	若干	若干	若干	若干	若干	
其他	若干	若干	若干	若干	若干	若干	買付品
コブラ	一	一	一	一、四〇〇擔	一、八五〇圓	三、七二〇圓	
マンガン、古他鐵	一	一	一	一	一、四〇〇圓	一、〇三〇圓	

参考 當社參加ノ生産企業ハ昭和十三年度ヨリ開始スルニ付右數字ハ
 舊S.A.P.T時代ノモノナリ

三會社役員數
 ニユ一ギニア關係 三名 但全部邦人
 子ギール關係 四名 内邦人一名

S 5221-1 2162

E-0533

0041

三、昭和十三年度本邦向輸出見込額
ニユーギニア關係

計	樹脂	棉花	生産物輸出見込量	金額
	三〇〇〇〇 <small>擔</small>	四二〇〇〇 <small>斤</small>		
	三〇八〇〇〇 <small>圓</small>	二五二〇〇〇 <small>圓</small>		

予て一ル關係

計	買付品		自家生産品	
	其他	滿庵	コブラ	珈琲
		一〇〇〇 <small>噸</small>	一〇〇〇 <small>擔</small>	四〇〇 <small>擔</small>
		〇	〇	〇
		一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	三五〇〇
二二〇〇〇〇 <small>圓</small>	五〇〇〇 <small>圓</small>	一〇〇〇〇 <small>圓</small>	一〇〇〇〇 <small>圓</small>	一四〇〇〇 <small>圓</small>

四、本邦ニ於ケル事務所

東京市麴町區内山下町一ノ一東洋ビルディング内

代表者 松江 春次

S 5221-1 2164

21 S 5221-1 2163

E-0533

0042

チカネリ栽培株式会社

一名 稱 N. V. Oultunn Maatschappij "Jikane" 所在地 爪哇バタビヤ市カリブツサル西街四十番地

事業地 チカネリ農園（爪哇ブレアンガ州チヤンデニール郡シン

ダングラヤ村

クンミン、バデガ農園（爪哇ブレアンガ州ガル郡チガチヤン村）

企業資金 資本金蘭貨六拾萬盾全額拂込ノ内弊社持株合計五拾萬盾ニ

テ右ニ對スル實際送金額ハ邦貨六拾五萬六千九拾八圓拾

六錢ナリ

取得セル利權ノ内容

租借面積 政府所屬地（ヌルフバハト）八一五、一二九バウ

土人所有地（ヒユールグロンド）二三七、一七五バウ

合計 一、〇五二、三〇四バウ

租借期限ハ政府所屬地七十五年、土人所有地十二年ナルモ現在契約期限満期ニ際シ租借期限ノ更新可能ナリ。

當該企業ニ關係セル本邦人數

邦人一名（蘭人六名、馬來人十一名）

作業用ノ舌力ハ數百名ニ上リ夫々農園ニ專屬部落ヲ設ケ常住セシメ又必要ニ應ジ附近部落ヨリ召集ス

年生産能力

紅茶（乾燥葉）毎年平均 二七五、〇〇〇担



5221-1

2166

25



5221-1

2165

E-0533

0043

規那皮（乾皮） 昭和十三年度 二八〇、〇〇〇疋

規那樹ノ成長ト共ニ逐年増加ス

但シ紅茶、規那皮共ニ輸出制限令施行サレ、實際生産量ハ生産能力ノ夫々二分ノ一及四分ノ一見當ナリ

過去三年間ノ生産高

紅茶（乾燥葉）

年	數	量	仕向地	金額
昭和九年	二一六	七七二疋	歐洲	一二三、六三二盾
十年	二二二	四一七五〃	〃	一一〇、四六五〃
十一年	二二三	六〇五五〃	〃	一三七、五七六〃

規那皮（乾皮）

昭和九年

昭和十年 三二、九七五、七疋 日本 三〇、四五七盾

〃 十一年 五二、九一五、三〃 〃 三九、四八三〃

但シ紅茶ハ農園ノ外ニ製茶工場ヲ經營致シ居ル爲メ現行制限令規定ニヨリ自家農園生産業ノ外ニ近傍土人茶園生産業買付製茶ノ割當アル爲メ右生産高ノ内正味自家業ハ約半分ナリ。

三、會社役員數

Directeur

和蘭人 一名

Commissarissen

邦人 二名
和蘭人 三名

計

六名

三、昭和十三年度本邦向輸出見込額

規那皮 七〇、〇〇〇疋 七〇、〇〇〇盾

S 5221-1

2168

2167

S 5221-1

26

E-0533

0044

西本邦ニ於ケル事務所

大阪市東區道修町二丁目廿七番地

株式会社 武田長兵衛商店

27.



5221-1

2169

E-0533

0045

蘭拓護謨園

一、名稱

蘭拓護謨園

所在地 ボルネオ、パンジャルマシン、マルタプーラ

事業地 同上

企業資金 昭和十二年十一月末現在投資額九四七、六二一圓〇七

取得セル利権ノ内容

借地権 存續期間七五年

面積 五、六九九英反

當該企業ニ關係セル本邦人數 従業員一名

過去三年間ノ生産額

既往ニ於ケル護謨生産実績

昭和 八年度 二一、三四五封度

昭和 九年度 五三、三五二〃

昭和 十年度 七〇、九七五〃

昭和十一年度 八四、五八〇〃

三、將來ノ見込

生産制限ヲ見込マザル極量時ニ於ケル生産能力ハ年額一八七、三〇〇封度ヲ豫想シ居レリ

三、本邦ニ於ケル事務所

東京市麴町區内山下町一ノ一東洋拓殖株式會社

代表者 窪 寺 勲

近 藤 錄 朗



5221-1

2171



5221-1

2170

28

E-0533

0046

株式會社日沙商會

一名 稱 株式會社日沙商會
所在地 神戸市岩屋三四〇
事業地 サラワツク國
英領馬來半島

投資額 九五一、四三〇圓

取得セル利權ノ内容 租借面積五千三百五十二英反 永代租借地
當該企業ニ關係セル本邦人數

サラワツク國 一二名
シンガポール 三名

計 一五名

過去三ヶ年間ノ生産額

(1) サラワツク國コム園コム栽培面積及生産高表

年度別	植付面積 英反	生産面積 英反	生産高 封度	賣上銀額 弗
昭和十一年度	三、六七四	三、五八三	六〇〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇
昭和十一年度	全	二、六一九	七〇〇、〇〇〇	二三〇、〇〇〇
昭和十二年度 (豫想)	全	全	六〇〇、〇〇〇	一六〇、〇〇〇

(2) サマラハン米作農場栽培面積及生産高表

年度別	栽培面積 英反	收穫面積 英反	收量 ガント
昭和九年度	一〇、六五	五〇、	五六一一
昭和十一年度	九三	七九五	一、九六二
昭和十一年度	八七	八七	一八四一六
昭和十二年度	植付中		

(3) 英領馬來半島嶺山事業

本事業サイト嶺區ニシテ推定鐵量約七十萬噸、目下採掘中ナリ

5221-1

2173

29

5221-1

2172

弊社生産物中護謨ハ今日迄ハ本邦向輸出セシコトナシ
 但本邦ニ於ケル事務所ハ全部本邦向輸出ノ豫定ナリ
 三 會社役員數 取締役 三名 監査役 二名
 サラワツク支店支配人 一名 計六名 全部邦人
 三 昭和十三年度ニ於ケル本邦向輸出見込額

企業別數量 價額
 本邦ニ於ケル事務所 所在地ニ全シ
 代表者 西川 玉之助

S 5221-1

2174

シシボール護謨園

シシボール護謨園

一、名稱 所在地 馬來半島クワイ、シシボール

事業地 全上

投資額 一、五四七、八一六二圓 (昭和十二年十一月末現在)

取得セル利権ノ内容

借地権 存續期間 九九年

面積 五、二八〇英反

當該企業ニ關係セル本邦人數 邦人従業員 四名

過去三年間生産額

昭和十年九月ヨリ採液開始セルモ生産制限ノ影響ヲ受ケ全能力ヲ發揮シ得ズ、未ダ見ルベキモノナシ
既往實績左ノ如シ
昭和十年度 一九、四二二封度

昭和十一年度 六四、五五一封度

尙昭和十二年度ノ生産見込ハ約一六〇、〇〇〇封度ナリ

營園ハ幼木林多キ爲僅ニ一部ノ採液ニ過ギズ昭和十七年ヨリ全園採液可能トナルモ極量生産ニ達スルハ昭和二十三年度ノ見込ニシテ極量生産時ニ於ケル生産力ハ年額一、六〇〇、〇〇〇封度(生産制限ヲ見込マズ)ノ豫定ナリ

二、會社役員數 ナシ 但シ管理上支配人トシテ牧野紫郎ヲ駐在セシム

三、將來ノ事業計畫

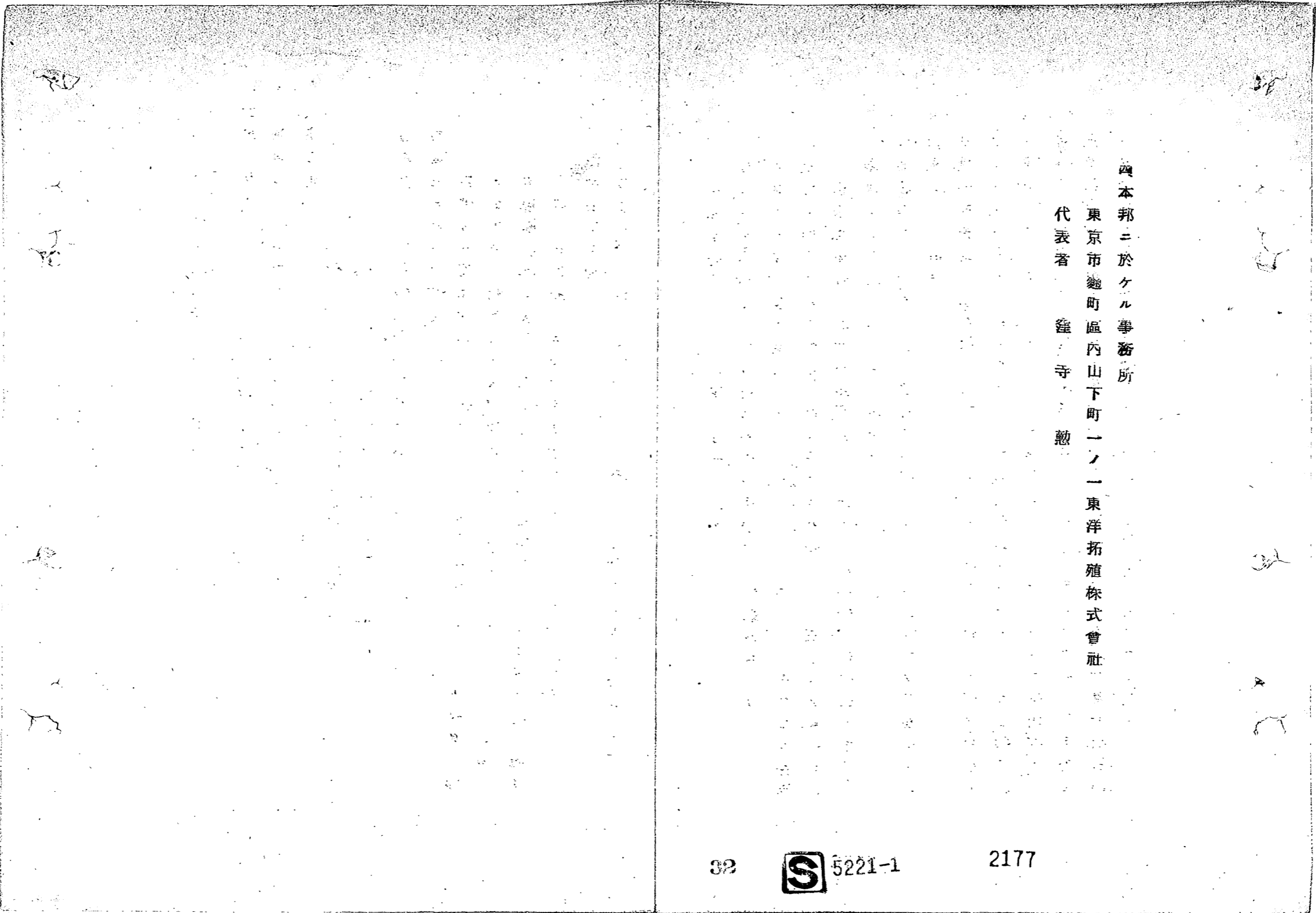
當園總面積五、二八〇英反アリ 當初其ノ全部ニ對シ造園ノ豫定ナリシモ護謨生産制限ニ禍セラレ新規植付禁止トナリ、八二〇英反ノ造園ヲ了シタルノミニテ他ハ未墾地トシテ存置シオレ共昭和十三年ノ右生産制限滿期迄ハ新規造園不可能ノ状態ニアリ滿期後ト雖モ狀勢如何ニ進展スルヤ見透シ付カザル實情ニアルヲ以テ當分現狀維持トシ既成園ノ保育管理ニ當ルノ外新規計畫ハ見合セ居レリ

S 5221-1 2176

31 S 5221-1 2175

E-0533

0049



西本邦ニ於ケル事務所
東京市麹町區内山下町一ノ一東洋拓殖株式會社
代表者 益 寺 勲

32

S 5221-1

2177

E-0533

0050

タワオ・エステートリミテッド
 一、名稱 タワオ・エステート・リミテッド
 所在地 英領北ボルネオ・タワオ
 事業地 (タワオ農園)
 サンダカン(サンダカン農園)
 パロン (パロン農園)

資本金 一〇〇〇〇〇海峽幣
 取得セル利権ノ内容

租借權ハ英領北ボルネオ政府ヨリ得タルモノニシテ下附ノ地券ニヨリテ權利ヲ表明ス、租借條件ハ Company terms ニ據リ
 租借權存續年限九百九十九年間、租借後ノ經過年數ニ從ヒ毎年一英反ニ付最低五〇仙ヨリ最高三弗ニ至ル地稅ヲ納付ス
 作物
 作付別農園面積
 タワオ、サンダカン、パロン三農園合計左ノ如シ(單位英反)

區別	椰子	マニラ麻	ゴム	其他	計
租借面積	一七二三三	三七七	一〇六		一七六一〇
植付面積	二五八六	二一五	六七		二九七四

當該企業ニ關係セル本邦人數 一九人
 事業地(英領北ボルネオ) 三
 東京事務所 二二人
 計

過去三年間ノ生産額及本邦向輸出額

年數	昭和十年		昭和十一年		別
	生産數量	金額	生産數量	金額	
椰子殼炭	一五、六四〇擔	九三九七	一九、九三五圓	七、五九九圓	椰子殼炭
	一〇、一五擔	九六四	一七〇八二擔	一、八三六圓	
其他	一、〇一五擔	九六四	一、〇六七擔	一七〇八二擔	其他
	一、〇一五擔	九六四	一、〇六七擔	一七〇八二擔	
計	一、〇一五擔	九六四	一、〇六七擔	一七〇八二擔	計
	一、〇一五擔	九六四	一、〇六七擔	一七〇八二擔	

5221-1

2179

33 5221-1

2178

E-0533

0051

昭和二十一年	昭和二十二年	昭和二十三年	昭和二十四年
同 c1r 金額	同 c1r 金額	同 c1r 金額	同 c1r 金額
一〇四〇七八	二二六一七五	三九〇〇〇	一六九八〇
生産數量	生産數量	生産數量	生産數量
一六二三七	一四二六六	一、二三二	二七、四八八
本邦向輸出數量	本邦向輸出數量	本邦向輸出數量	本邦向輸出數量
一四二六六	一、二三二	二五三一二	二五六八
同 c1r 金額	同 c1r 金額	同 c1r 金額	同 c1r 金額
二二六一七五	三九〇〇〇	一六九八〇	九九六〇

三、會社役員數

英領北婆羅洲方法規ニ據リ昭和四年三月設立セル株式組織ノ Private

Company ニシテ三菱合資會社ノ投資ニ係ル企業ナリ

現在役員數ハ取締役二、監査役二、計四名、全部邦人ナリ

三、昭和十三年度ニ於ケル本邦向輸出見込額

數量	金額	數量	金額	數量	金額
椰 子 殼 炭	コ	マ	ニ	ラ	麻
一六八〇〇	一六八〇〇	二五〇〇〇	三三〇〇〇	一七六〇〇	一、一六四〇〇
同 c1r 金額	同 c1r 金額	同 c1r 金額	同 c1r 金額	同 c1r 金額	同 c1r 金額
二一八四〇〇	七五〇〇〇	一七六〇〇	一、一六四〇〇		

農園ノ充實ニ伴ヒ必然的ニ生産高並ニ本邦向輸出高漸増ノ傾向ニ在リ

四、本邦ニ於ケル事務所

東京市麹町區丸之内二丁目四番地 三菱本館内

代表者 石 山 暖三郎

五、其ノ他參考トナルベキ事項

勿ワ才ハ僻遠孤立ノ地ニシテ市場トノ聯關ニ乏シキ爲メ當社農園生産物ハ其殆ンドスベテヲ南洋海運汽船便ニヨリテ日本市場ニ販賣スルノ外有利處分ノ途無キ現狀ニ在リ且ツ此ノ生産物販賣ニヨリテ運轉資金ヲ得辛フジテ經營ヲ維持シ居レル次第ナレバ輸入統制ニ關シテモ邦人海外事業助成上現地生産物ノ本邦ヘノ輸入ニ付テハ格別ノ御配慮ヲ賜ランコトヲ切望ス



5221-1

2181



5221-1

2180

六名 稱 邦ルネ殖産株式會社

所在地 東京市麹町區丸ノ内一ノ二 臺灣銀行ビル四階七號室

事業地 英領北邦ルネ、ビレット

起業資金 四四五、〇〇〇圓

取得セル利權ノ内容

土地租借權ノ殘存年限ハ約九百八十年ニシテ、總地積壹万貳百拾五英反（我約四千百町步）ナリ

當該企業ニ關係セル本邦人數

過去三年間ノ生産額及本邦向輸出額

本邦人従業員及生産額ハ引續キ事業休止中ニ付該當無之但農場中ノ護謨園ヲ同地榮須公司（又那人經營）ニ賃貸中ナリ

三會社役員數

取締役 三名（邦人）

監査役 一名（〃）

計 四名

三昭和十三年度本邦向輸出

事業休止中ニ付該當事項無之

四本邦ニ於ケル事務所前記所在地ニ同シ

代表者 谷口守雄

S 5221-1

2183

35

S 5221-1

2182

E-0533

0053

南洋企業株式會社

一、名稱 南洋企業株式會社

所在地 東京市麹町區丸ノ内二丁目二番地 丸ビル内

事業地 暹羅國

資本金（實際投資額）六七三〇〇圓（昭和十二年九月末現在）

取得セル利權ノ内容 總面積一八八英反

當該企業ニ關係セル本邦人數

過去三年間ノ生産額及本邦向輸出額

（昭和十二年三月九日創立）

二、會社役員數 取締役一〇名 監査役一名 計一一名 全部邦人

三、昭和十三年度本邦向謨誤輸出見込數量 三〇噸

四、本邦ニ於ケル事務所 所在地ニ全シ

代表者 賀來佐賀太郎

五、其ノ他參考トナルベキ事項

一、農園ノ擴張

現存謨誤園ニ近隣セル既植謨誤園ノ買收ヲ行ヒ漸次之方擴張ヲナ

シ其ノ他適當ナル諸企業ノ擴張ヲ圖ル計畫

二、錫鑛業

南部暹羅地方ニ於ケル錫鑛業ノ有望ナルニ鑑ミ事變終結後海外資

金ノ送金ヲナシ得ルニ至ラバ之ガ着手ノ方針ヲ定テ豫定

S 5221-1

2185

36

S 5221-1

2184

古川拓殖株式会社

一名 稱 古川拓殖株式会社

所在地 本社 比律賓群島ダバオ市
支店 マニラ市

事業地 比律賓群島ミンダナオ島ダバオ

資本金 一、五〇〇、〇〇〇比

取得セル利権ノ内容 米國人、西班牙人ノ私有耕地ヲ買收ス

面積 一、〇一二町歩

當該企業ニ關係セル本邦人數(勞働者ヲ含ム) 一七〇名

過去三ヶ年間生産額及本邦向輸出額

昭和九年	五四七七二八七比	九三七六三七比	二九二八四一四比
	マニラ 麻		椰子

昭和十年	八五五九三八六比	八六五〇一二比	五四七八七八比
------	----------	---------	---------

昭和十一年	九〇五三九七四比	六二七七〇八比	六四六六〇五三比
-------	----------	---------	----------

但一〇〇比ハ邦貨一七〇圓見當ナリ

本邦向マニラ麻輸出額及數量

昭和九年	一、〇一、五二八二五比	七六三四一俵
------	-------------	--------

昭和十年	一、一八三、八四八七四比	九〇一三〇
------	--------------	-------

昭和十一年	一、七七八、七〇八七五比	五五一六〇
-------	--------------	-------

但一俵ハ二擔

三 會社役員數 社長一名、副社長一名、取締役三名計五名、取締役

中一名比島人ニシテ、邦人役員四名

三 昭和十三年度マニラ麻本邦向輸出見込額

二四五〇〇〇〇比 七〇〇〇〇俵

S 5221-1

2187

S 5221-1

2186

但シ一俵三五比ト見積ル

西本邦ニ於ケル事務所

東京市日本橋區吳服橋建物ビル大同貿易支店內

代表者 古川 義三

其ノ他参考トナルベキ事項

弊社ハ現社長古川義三個人名義ニテ、九六一町歩ノ私有地ヲ所有シ、
▼ニラ麻補付面積四五〇町歩椰子補付面積二五〇町歩ノ耕地ヲ經營ス。
又、デシケーテツド・ココナツトノ製造工場ヲ有シ年産二万箱金額三拾
万比ノ販賣ヲナス。

弊社ハナイブシヨ木材會社ヲ經營シ、南洋材ノ丸太ヲ日本内地ニ輸入ス
弊社ハマニラ麻ノ輸出ヲナシ數量年一五〇〇〇〇俵金額五百万比ノ取扱

S 5221-1

2188

38

ヒヲナス。

麻値段ハ一昨年末ヨリ回復シ漸ク業績ヲ擧ゲントスルニ當リ測ラズモ日
支事變ノ突發アリ、而モ歐州ノ政情不安、米歐市場惡化等ニヨリテ麻相
場暴落シ、一方日本内地ニ於ケル爲替管理輸入統制強化ハマニラ麻ノ内
地向輸出ヲ殆ンド禁止的ナラシメ事業遂行上蒙ル惡影響甚大ナルモノア
リ。

タバオニ於ケルマニラ麻生産ハタバオ在留邦人ノ生命線ナリ。日本人海
外發展援助ノ意味ニ於テ特ニ昭和十三年度ニ於テハタバオ産出マニラ
ノ優先本邦輸入ヲ望ム所以ナリ。

S 5221-1

2189

E-0533

0056

南ミンダナオ農業株式会社

一、名 稱 南ミンダナオ農業株式会社
 所 在 地 比律賓群島ダバオ市ナンミン
 事 業 地 向 右

資 本 金 四萬九千比

取得セル利権ノ内容 第一期二十五年、第二期二十五年トス

面 積 二〇〇町歩

當該企業ニ關係セル本邦人數 一五名

過去三ヶ年間生産額及數量

年 次	金 額	數 量
昭和 九年	一五六八二・四七	三六〇七・四七
昭和 十年	一八五一八・三四	一九六〇・一四
昭和 十一年	四五七五・九五八	三九一三・四三
本邦向輸出		

生産物ハ全部古川拓殖株式会社へ引渡シ同社ヨリ輸出サレ直接輸出セ

二、會社役員數 社長一名、副社長一名、取締役三名計五名、取締役中一

名比島人、他ハ邦人

三、昭和十三年度本邦向輸出見込

數量 一、五〇〇俵 金額 五三、五〇〇比（邦貨八七、五〇〇圓）

但シ直接輸出セズ

四、本邦ニ於ケル事務所 東京市日本橋區吳服橋建物ビル大同貿易支店內

川拓殖株式會社氣付

代 表 者 藤 澤 美 次

S 5221-1

2191

2190

39 S 5221-1

E-0533

0057

南洋農産株式会社
 一、名 稱 南洋農産株式会社
 所在地 東京市本所區千歳町一丁目六番地四
 事業地 比律賓群島ミンダナオ島ダバオ
 企業資金

取得セル利権ノ内容

一九一七年比律賓群島邦人ユヨリ法人組織トシ比島公有土地法ニヨ
 リ公有地ヲ租借ス
 第一期二十五ヶ年 第二期二十五ヶ年
 面積 八四五町歩
 過去三ヶ年間に生産額及數量

昭和	九年	昭	和	十	年	昭	和	十	一	年
金	額	數	量	金	額	數	量	金	額	數
昭	和	十	年	昭	和	十	年	昭	和	十
三	五	九	七	三	一	二	三	六	一	四
二										

40 S 5221-1 2192

昭和十二年上半期 三七七二九五七 一七四一、一四

本邦向輸出數量金額

生産物ハ古川拓殖株式会社ニ引渡し同社ヨリ輸出シ直接輸出セズ

三、會社役員數 社長 小澤文好

以下不明

三、昭和十三年度本邦向輸出見込額
 數量一、五〇〇俵 金額五三、五〇〇比 (邦貨八七、五〇〇圓)
 但シ直接輸出セズ

四、本邦ニ於ケル事務所 所在地ニ全ジ

代表者 小澤文好

五、其ノ他參考トナルベキ事項
 弊社ハ昭和十一年五月ヨリ古川拓殖株式会社ニ經營ヲ委託セリ

S 5221-1 2193

E-0533

0058

ラヒリバI拓殖株式會社

一、名稱 ラヒリバI拓殖株式會社

所在地 比律賓群島ダバオ州マダナガ

事業地 "

資本金 十萬比

取得セル利權ノ内容

面積 三三四町步(政府則量)實際面積ハ四〇〇町步ヲ超ユ

麻耕地 三〇〇町步

椰子面積 八〇町步

利權存續期間ハ二十五年、滿了後更ニ二十五年ヲ許可サルモノナ

リ 當該企業ニ關係セル本邦人數 三五名

過去三年間ノ生産額

一ヶ年生産力

麻 六、五〇〇ピクル

コブラ 一、五〇〇 "

三會社役員數 四名(内比人一名)

三昭和十三年度本邦向輸出見込額

裁伐會社ナルヲ以テ直接輸出ナシ

四本邦ニ於ケル事務所 不明

代表者 太田 三四二

S 5221-1

2195

41

S 5221-1

2194

E-0533

0059

一、名 稱 マダニル興業株式會社
 所在地 東京市日本橋區吳服橋三ノ七 大同貿易内
 事業地 比律賓

資本金 十萬比
 取得セル利權ノ内容
 一九一八年比律賓群島法人法ニ依リ法人組織トシ比律賓公有土地
 法ニ依リ公有地ヲ租借ス

第一期第二期共二十五ヶ年トス
 總面積 五四〇町步

植付面積及生産面積(マニラ麻)共 五四〇町步
 當該企業ニ關係セル邦人數 三〇名
 過去三年間ノ生産額及數量

昭和九年	金額	數量
	四九四〇七二九	八三九七〇九擔

昭和十年	金額	數量
	一〇五〇八九一五	九七六三、三九
昭和十一年	金額	數量
	一一四二五三一七	七二七九一八

本邦向輸出數量

生産物ハ全部古川拓殖株式會社へ引渡シ同社ヨリ輸出ス
 三、會社役員數 取締役 五名(内外人二名)
 三、昭和十三年度本邦向輸出見込額

數量	金額
四〇〇〇俵	一四〇〇〇〇比(邦貨二、三三、〇〇〇圓)

但シ直接輸出セズ

四、參考事項 古川拓殖株式會社ノ關係會社ナリ
 五、本邦ニ於ケル事務所 所在地ニ全ジ
 代表者 蔦屋 麻吉

S 5221-1

2197

42 S 5221-1

2196

E-0533

0050

一、名 稱 マルセ予ス拓殖株式會社

所在地 比律賓群島サンボアン市

事業地

資本金 二萬比

取得セル利權ノ内容

面積 二五八ヘクタール

内 譯 九六ヘクタール

一六二〇

比人所有ノ利有地買收、官有地一ヘクタールニ就キ拾比貨ノ割合ヲ以テ三百ヘクタール拂下ゲノ内現在確定セル分

當該企業ニ關係セル本邦人數 四名
過去三年間ノ生産數(ヨソラ)

昭 和 十 年	昭 和 十 一 年	昭 和 十 二 年	數 量	金 額
五 四 、 七 〇 三 、 五 五 五	三 八 、 九 七 〇 、 〇	五 五 、 八 九 四 、 五		四 、 四 二 四 、 八 〇
				三 、 八 六 四 、 一 四
				五 、 六 一 九 、 九 三

三、會社役員數 取締役三名 監査役一名 計四名全部邦人

三、昭和十三年度本邦向輸出見込額 ナシ

四、本邦ニ於ケル事務所 不明

代 表 者 數 森 佳 一

S 5221-1

2199

43

S 5221-1

2198

E-0533

0051

ラミタシ・プランテーション会社

一名 稱 Lamtton Plantation Company Ltd.

所在地 比律賓島サンボアンガ市オリロラスタジオ内

事業地 Nonkabit, Lamtton Zamboanga

資本金 貳拾萬比

取得セル利権ノ内容

植付椰子 三萬五千本

當該企業ニ關係セル本邦人數 五名

過去三ヶ年間ノ生産量 一ヶ年 拾萬キロ

二 會社役員數 四名 全部邦人

三 本邦ニ於ケル事務所 不 明

代表者 小山 勸次郎 (住所 西宮市中大畑町五七)



比律賓木材輸出株式會社
 比律賓木材輸出株式會社
 所在地 神戸市神戸區明石町三十二番地 明海ビルディング
 事業地 比律賓群島ルソン島タヤパス州カシタラン
 投資額 一、九〇五、二二二圓
 取得セル利権ノ内容
 弊社ハ大正十四年十月比律賓群島ルソン島タヤパス州カシタラン
 ニ比島政府ヨリ山林伐採權ヲ獲得シ四拾四万圓ヲ投シ爾來同地ヨ
 リ丸太ノ輸出ヲ圖ル傍ラ比島ミンダナオ島ニ於ケル比人諸木材業
 者ト長期ノ丸太買買契約ヲ締結シ社船或ハ傭船ヲ以テ之ガ買材ノ
 輸入ヲ計リツツアリ
 而シテカシタランハ勿論純然タル直營事業ニシテ其他左記比人諸
 木材業者ニモ事業設備資金、連營資金六拾七万貳千圓ノ融資ヲナ
 シ來リ謂ハバ準直營事業地ト云フヲ待ベシ

面 積 四八〇万平方哩
 存續年限 永 久 的
 當該企業ニ關係セル本邦人數
 神戸本社従業員數 一〇名
 東京出張員 三名
 カシタラン事業地 五名
 マニラ支店 六名
 セン出張所 一名
 計 三九名

過去三ヶ年ノ生産額

昭和十一年度	三五〇〇〇〇石	流失、製材、不良排却材ヲ含ム
昭和十一年度	四五〇〇〇〇石	"
昭和十二年九月迄	四〇〇〇〇〇石	"

S 5221-1

2202

S 5221-1

2201

E-0533

0063

過去三ヶ年本邦向輸出額 單位石燐（インボイス面）

年度別	數量	價格（CIF）圓建
昭和十年度	三二八七二四	二六四〇〇〇〇
昭和十一年度	三九二、二二〇	三、五三〇〇〇〇
昭和十二年度十月迄	二三七、二四一	二、三七〇〇〇〇

註 右表ハ弊社カシタラシ直營事業地ヨリノ輸出額及ビ比島各不採業者ヨリノ買材輸出額ノ合計ナリ

之ノ中カシタラシヨリノ本邦向輸出額ハ左ノ如シ

年度別	數量	價額（CIF）
昭和十年度	二四、五二四	二〇〇、〇〇〇
昭和十一年度	二七、四〇六	二、五〇〇、〇〇〇
昭和十二年度十月迄	三六、八二二	三六〇、〇〇〇

三 會社役員數 取締役 五名 監査役 三名 計 八名 全部邦人
 三 昭和十三年ニ於ケル本邦向輸出見込額

時局柄貿易統制ガ強行セララルニ至リ南洋材モ重要物資ノ一二指定セラレ其ノ輸入數量ノ制限ヲ受クル事トナリ目下當局ニ於テ弊社ガ再三提出セル過去ノ輸入実績並ニ陳情等ニ基キ來年度輸入數量ノ査定ガ行ハレツツアリ

是ガ我社ヘノ割當ノ決定ヲ見ル迄ハ當社輸入數量ノ見込付カザルモ最低三十万石價格（CIF） 圓ノ輸入取扱ヨナサザレバ營業上ノ收支償ハザル所ナリ

四 本邦ニ於ケル事務所 所在地ニ同ジ

代表者 中村 精七 郎

五 其ノ他參考トナルベキ事項

當社ハ我國國策上極メテ重要性アリトノ國家的觀念ヨリ去ル大正十三年以來我社ノ事業トシテ比島政府ヨリ森林ノ伐採權ヲ獲得シタルカシタラシ直營事業地ノ木材伐採輸入ノ傍ラ比島各地ノ諸木材業者



5221-1

2204

46



5221-1

2203

E-0533

0054

トモ出材資金ヲ貸與シ長期ノ買約ニヨリ永年輸入販賣ヲナシ來リ兩
國共存共榮ノ營業精神ヲ以テ社運ノ隆盛ニ努力シ來リタリ然シテ其
ノ基礎漸ク成リ本年ニ入りテ一層其ノ伸展ヲ期スベキ時ニ當リ圖ラ
ズモ今同日支事變ノ勃發ニヨリ吾經濟組織ハ全ク戰時統制ニ編成
ヘセラレ重要輸入商品ノ一タル我が南洋材ニ關シテモ亦爲替管理ニ
次グ貿易管理ノ施行ヲ見ルニ際シ斯業ニ拂ハル吾人ハ此ノ國策ニ順
應シ此ノ難局ニ克ク堪ヘ國富ノ進展ニ邁進セントスルモノナリ

47
S 5221-1

2205

E-0533

0055

ツダシ商事株式会社

一名 稱 ツダシ商事株式会社

所在地 東京市日本橋區室町二ノ一三井物産株式会社内

事業地 夕バオ市街

資本金 二十五萬比

取得セル利權ノ内容

租借面積 八六、〇〇〇町歩

伐採年限 自一九三六年一月二日至一九四〇年十二月末日最初一

九二八年伐採權ヲ得其ノ後期限到來毎ニ許可ヲ受ク

伐採責任數 一〇、〇〇〇立万米突(一ヶ年ノ最少伐採責任數量)

權利取消 伐採期間中四ヶ月間事業ヲ中止セバ伐採權ヲ取消サル

當該企業ニ關係セル本邦人數 六二名

過去三年間ノ生産額及本邦向輸出額

	丸太出材量 立方呎	金 額	本邦向輸出量 立方呎	金 額
昭和十年	二、〇四五九〇〇	九四七二〇〇圓	一、七〇六〇〇〇	七三八七〇〇圓
十一年	二、一五五四〇〇	一、〇〇〇一〇〇	一、七二二〇〇〇	七四〇二〇〇
十二年	二、六八一、一〇〇	一、二四六七〇〇	一、三四三、〇〇〇	六二四、七一五

三、會社役員數 取締役 五名 全部邦人

三、昭和十三年度本邦向輸出量豫想

數	量	金	額
三、八〇、〇〇〇石		一、七六七、〇〇〇圓	

四、本邦ニ於ケル事務所 所在地ニ全シ

代表者 河村 雜次郎

S 5221-1

2207

48 S 5221-1

2206

E-0533

0055

テイブニコ木材株式会社

一、名 稱 ティブニコ木材株式会社
 所在地 比律賓群島ダバオ市
 事業地 ミンダナオ島
 資本金 一六〇〇〇〇〇〇比
 取得セル利権ノ内容

大正十一年比島政府ヨリ森林伐採權ヲ獲得シ每五ケ年目ニ權利更新
 ヲナシ權利ヲ繼續ス。

面 積 一万二千町歩

當該企業ニ關係セル本邦人數 一三〇名

過去三ケ年間ノ生産額及生産量

テイブニコ	昭和九年	昭和十年	昭和十一年
	二二六四八八八比	二六八五二六九比	二五七八一四三比
	一一九五六六石	一四九一八三石	一三、八一石



5221-1

2208

合 計	ガ ル フ	比
一七三七九四五	一五、一八三石	六、三五八、六八比
二五三八六八二	二三、二〇八、五五九比	一四、三、九四七、五五比
一三四七四九石	一九六五三八石	一〇、四、一九石
	四〇、二七六、一八九比	二、三、三、二、三〇石

本邦向輸出南洋材(ガルフ木材會社生産ヲ含ム)

數 量 金 額

昭和九年 八七二四三石 二四〇〇九、五九(約四〇〇〇〇圓)
 昭和十年 一四四九八一 三三、一二八八一(五五〇〇〇圓)
 昭和十一年 一二五〇六二 三一五〇九〇五(五二〇〇〇圓)
 二會社役員數 社長一名、副社長一名、取締役三名計五名全部邦人
 三、昭和十三年度本邦向輸出見込
 數量 二四〇〇〇〇石 金額 二〇〇〇〇〇圓
 月二万石ニテダバオ沖渡値百石五〇〇圓ト見積ル。
 四、本邦ニ於ケル事務所
 東京市日本橋區吳服橋建物ビル大同貿易支店內



5221-1

2209

E-0533

0057

古川拓殖株式会社
代表者 溝部 長 付
男

50



5221-1

2210

E-0533

0068

カルン木材株式会社

一、名 稱 カルン木材株式会社
 所在地 比律賓群島マニラ市
 事業地 比律賓群島マニラ州タニン
 資本金 三十万比
 取得セル利権ノ内容
 面積 四万町歩

昭和八年比島政府ヨリ森林伐採權ヲ獲得シ五年目毎ニ權利更新ス
 當該企業ニ關係セル本邦人數 七〇名
 過去三年間ノ生産額及本邦向輸出額

年	生 産 額		本 邦 向 輸 出 額	
	數 量	金 額	數 量	金 額
昭和九年	一五、一八三石	一七、三七九・四五比	八七、二四三石	二四、〇〇九・五九比
全 十 年	四七、三五五	六三、五五八・六八	一四四、九八一	三三、一、二八・八一
昭和十一年	一〇、一四一・九	一四、三九四・七・五五	一二、五〇六・二	三一、五〇九・〇・五

但シ生産額金額ハテイブン木材會社ニ引渡セル價額ニシテ市價ニアラス

本邦向輸出額ハテイブン木材會社生産ヲ含ム

二、會社役員數 取締役五名（内外人二名）

三、昭和十三年度本邦向輸出見込額 ナシ

四、参考事項

テイブン木材會社ニテハ比律賓森林法ノ改訂ニテ森林伐採權發
 得不可能ニ依リ本會社ヲ設立シタルナリ、依ツテ本會社ノ丸太生
 産ハテイブン木材會社ノ生産ト同一ニ見ルベキモノナリ

五、本邦ニ於ケル事務所 東京市日本橋區吳服橋三ノ七大同貿易内

代表者 古川 義三



5221-1

2212



5221-1

2211

E-0533

0059

キングー木材株式会社

一名 稱 キングー木材株式会社

所在地 大阪市大正區小林町四五番地

事業地 比律賓ミンダナオ島東ミサミス縣キングーグ比律賓バシ
ーラン島イサベラ

企業資金

キングーグ事業地諸設備投資 約七〇〇、〇〇〇圓

バシーラン事業地 〃 約一五〇、〇〇〇圓

計 約八五〇、〇〇〇圓

取得セル利権ノ内容

事業地敷實測 採算可能地積

キングーグ 三〇、〇〇〇町歩 一五、〇〇〇町歩

バシーラン 一五、〇〇〇町歩 一〇、〇〇〇町歩

計 四五、〇〇〇町歩 二五、〇〇〇町歩

伐採期間 キングーグ 一〇年

バシーラン 一〇年

當該企業ニ關係セル本邦人数

キングーグ 一七名

バシーラン 五名

昭和十一年、十二年（上半期）本邦向積出量

	キングーグ	バシーラン	計
昭和十一年本 邦向積出量	一、五〇〇、〇〇〇 立方呎	一、二八八、〇〇〇 立方呎	二、七二八、〇〇〇 立方呎
昭和十二年 上半期	一、〇〇〇、〇〇〇 立方呎	七三六、〇〇〇 立方呎	一、七三六、〇〇〇 立方呎

三 會社役員數 取締役五名 監査役二名 計七名 全部邦人

三 昭和十三年度本邦向輸出見込高

キングーグ 三、〇〇〇、〇〇〇立方呎

バシーラン 一、五〇〇、〇〇〇立方呎

計 四、五〇〇、〇〇〇立方呎

S 5221-1 2214

52 S 5221-1 2213

計 西本邦ニ於ケル事務所
西五〇〇〇〇〇立方呎
本店 大阪市大正區小林町四五番地
支店 東京市四谷區愛住町十八番地
代表者 松岡源之助

西本邦ニ於ケル事務所
西五〇〇〇〇〇立方呎
本店 大阪市大正區小林町四五番地
支店 東京市四谷區愛住町十八番地
代表者 松岡源之助

2215

S 5221-1

53

E-0533

0071

ミンドロ木材會社

一、名稱 ミンドロ木材會社

所在地 マニラ市ソラソ町二一九ノ二二ル番地

事業地 比律賓ミンドロ洲ボージ、ナワンアン及ビナマラン

資本金 三萬比

取得セル利權ノ内容

總面積 二萬五千町歩（ボージ、ナワンアン、ビナマラン）

伐採權ハ年々更改サルベキ條件ナルモ山林局長ト懇談ノ上

十五ヶ年無更改存續ニ變更

當該企業ニ關係セル本邦人數 七名（幹部）

過去三年間ノ生産額及本邦向輸出額

昭和十二年度（十一月迄）生産額約三萬石（一ヶ年生産力 十五萬石）

本邦ノ輸入ニ付テハ南洋材聯合會ヲ經テ目下主務官廳宛申請中

三、會社役員數 三名（内一人外人）

三、昭和十三年度本邦向輸出量豫想

販賣先	數量	金額
日本向輸出	一〇〇、〇〇〇石	四二五、〇〇〇圓
比島内販賣	二〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇
外國向輸出	五〇、〇〇〇	二五〇、〇〇〇

四、本邦ニ於ケル事務所

大阪市東區今橋五丁目 安宅商會内

代表者 堀田彦次郎

S 5221-1

2217

54

S 5221-1

2216

E-0533

0072

スマギー木材株式会社

一、名 稱 スマギー木材株式会社
 所在地 比律賓群島マニラ市
 事業地 比律賓群島ミンドロ州スマギー（北部アグサリン川ヨリ南部マンガライ川ニ至ル九五、五二五、〇七ヘクタール）
 投資額 六拾壹萬八千六百七拾圓
 取得セル利権ノ内容
 事業地ノ面積八九五、五二五、〇七ヘクタールニシテ利権存続期間ハ一九三一年五月九日ヨリ一九五一年九月九日迄ノ二十ヶ年間トス
 當該企業ニ關係セル本邦人數
 現在ノ従業員ハ日本人一二名、比島人三百九十七名ナリ
 過去三ヶ年間ノ生産額及本邦同輸出額

年次	生産數量 立方尺	日本向數量 立方尺	日本向輸出金額(FOB) 圓
昭和十年	四〇九八七三	三六九七四八	一五三八〇一
昭和十一年	七四一三九〇	六五〇二五〇	二七三二一七

昭和十二年 一、一三〇、〇〇〇 六七三、一四〇 二八、一六一

(十月迄)

二、社 員 取締役 四名、内邦人一名

取締役社長ハ比島人ト結婚セル今村榮吉ニシテ、他三名ノ比島人取締役ハ今村榮吉ノ義父、義弟ナリ

三、輸 出 昭和十三年度本邦同輸出見込額

現在ノ東木、運翰、其他ノ施設ヲ以テセバ明年度ノ最低出材及輸出要量ハ左ノ通りトス

最低出材數量	一ヶ月間 立方尺	價 額	一ヶ月間 立方尺	價 額
最低出材數量	一八〇〇〇〇		二一六〇〇〇〇	
内小材、他種材	二〇〇〇〇		二四〇〇〇〇	
差引日本向輸出 最低必要數量	一六〇〇〇〇	約六五〇〇〇圓	一九二〇〇〇〇	七八〇〇〇〇圓

四、本 邦 三 於 ケ ル 事 務 所

東京市麴町區丸ノ内三丁目四番地 株式会社岩井商店東京支店内

5221-1

2219

55

5221-1

2218

代表者 今村 榮吉

五其ノ他参考トナルベキ事項

スマギ一木材株式會社ノ株式買収ヲ決意セシハ昭和十年六月ニ始マリコ
 ノ交渉開始スルヤ當時ノ事業地ノ主腦部タル米人數名ハ將來日本人ノ經
 營下ニ働クヲ潔ヨシトセス運送辭職ノ舉ニ出デシタメ出材事業ハ一時中
 絶ノ状態トナリ然モ株式買収ノ交渉ハ條件ノ點ニ於テ容易ニ進捗セズ之
 カ成立調印ヲ見シハ八月末ニ至レリ。買収後モ人員ノ整理、立木調査、
 機械器具ノ購入等ニ多大ノ日子ヲ要シ結局昭和十年七月ヨリ今年十二月
 末ハ出材休止、十一年度モ出材事業ノ急激ナル増加ヲ圖ルヨリモ寧ロ内
 部ノ調整ニ重點ヲ置キ本年三月ヲ以テ第一期増産準備完成セシ次第ナリ。
 然ルニ今春ヨリ内地ニ於ケル輸入制限實施サレ輸入許可數量ノ基準ヲ弊
 社トシテハ準備期間トシテ實績勘キ昭和十一年度ノ輸入數量ニ求メラレ
 シタメ弊社ノ輸當ハ非常ニ少ク折角今後ノ建實ナル活動ニ具ヘ難伏以テ
 築キシ事業ノ基礎ハ頓挫ノ悲運ニ逢着シ今後モ引續キコノ状態繼續セン
 カ遂ニ事業執行不可能ノ域ニ到達スル虞多シ

2220

S 5221-1

56

E-0533

0074

名 稱 ボルネオ物産商會
 所 在 地 兵庫縣赤穂郡那波町陸
 事業地 蘭領ボルネオ、比律賓
 投資額 二五〇五〇〇盾
 取得セル利権ノ内容
 ボルネオ島

地名	面積	利権存續年限
タラカ	一三四〇〇ヘクタール	自昭和十一年九月
ロハラ	四二四〇〇	自昭和十二年七月
サンタカン	四〇〇〇	自昭和十二年六月
シニヨール	一四〇〇〇	自昭和十一年十二月
ブリウエ	一三二〇〇	自昭和十四年四月

テンジヨウ	一三二〇〇	自昭和十一年九月
シホエ	二七六〇〇	自昭和十一年九月
セブントロン	三六八〇〇	自昭和十一年九月
イナラン第一區	四九一〇	自昭和十四年九月
イナラン第二區	四九七〇	自昭和十四年九月
ビイラン	八八四〇	自昭和十五年十二月

利権存續年限ハ期限満了ト同時ニ新規ノ換地ヲ附與サレルニ付キ永久
 的性質ヲ有ス

地名	金額	邦價換算額	摘要
バシラン島	四八二〇〇比	八六七六〇圓	内地一手販賣權ヲ所有シ年度契約トス
オランダガ島	一五〇〇〇	二七〇〇〇	
レコド	二五〇〇〇	四五〇〇〇	

S 5221-1

2222

57 S 5221-1

2221

E-0533

0075

當該企業ニ關係セル本邦人數 二〇名
過去三年間ノ生産額及本邦向輸出額

年 別	生産數量	價 額	本邦向輸出數量	價 額
昭和十年	三二、五五三石	一四六四八八圓	三二、五五三石	一四六四八八圓
同 十一年	一五、三五一九	六七七一三七	一四、七九〇四	六四一、八七〇
同 十二年	三〇、四一五八	一、三一七、三七〇	二八、〇八八五	一、二一三、六四二

三會社役員數 理事 五名 全部邦人
三昭和十三年度ニ於ケル本邦向輸出見込額

比 律 賓	數 量	價 額	數 量	價 額
水 泥	二〇、〇〇〇石	八〇、〇〇〇圓	一、五〇〇噸	九〇、〇〇〇圓
比 律 賓	一六、五〇〇〇	六六、〇〇〇〇	五〇〇	三〇、〇〇〇〇

四本邦ニ於ケル事務所 所在地ニ同ジ
代 表 者 菊 地 良 一

昭和十三年度ニ於ケル本邦向輸出見込額
水 泥 二〇、〇〇〇石 八〇、〇〇〇圓
比 律 賓 一六、五〇〇〇 六六、〇〇〇〇
五〇〇 三〇、〇〇〇〇
九〇、〇〇〇圓

株式會社住友商店

一、名 稱 株式會社住友商店

所在地 大阪市大正區小林町四五番地

事業地 比律賓ミンダナオ島アダサン縣ツバイ

企業資金 貳拾万圓

取得セル利權ノ内容

事業地域 一万町歩

伐採期間 十ヶ年

當該企業ニ關係セル本邦人數

從業員 派遣日本人 五名

(比島人 三五五名)

著積量 二千万石

出材狀況 月産 一万二千石

三、會社役員數 取締役三名 監査役一名 計四名 全部邦人

三、昭和十三年度本邦向輸出見込高 一、五〇〇〇〇〇立方呎
四、本邦ニ於ケル事務所所在地ニ全シ

代表者 住友與平

5221-1

2225

59 5221-1

2224

E-0533

0077

日比企業株式會社

一、名稱 日比企業株式會社

所在地 大阪市大正區小林町百十番地

事業地 比律賓 亦り島

資本金 拾万圓

取得セル利權ノ内容

亦り島山林所有權者比律賓政府

亦り島山林伐採權名義人、李萬益

同 YOSHIO TAIRA

同 實權者 日比企業株式會社

面積 二百五拾二平方哩

當該企業ニ關係セル本邦人數

本邦人従業員 弊社員拾二名駐在

過去三年間ノ生産額及本邦向輸出額

弊社本年（昭和十二年）三月事業着手

二、會社役員數 取締役四名 全部邦人

三、昭和十三年度本邦向輸出見込額

計畫トシテ將來毎月二万石以上出材見込ナルモ、特ニ明十三年度

ハ政府當局ノ御方針モアル事ナレバ、最低月八千石以上政府割當一

任 西本邦ニ於ケル事務所 所在地ニ全シ

代表者 河野和一

S 5221-1

2227

60

S 5221-1

2226

E-0533

0078

南洋林業株式會社

一、名稱 南洋林業株式會社
 所在地 東京市麴町區內山下町東洋ビル内
 事業地 蘭領印度ネオ島サンクリラン
 資本金 五拾万盾
 取得セル利権ノ内容

租借地伐採期間 三十ヶ年
 面積 五万町歩
 蓄積量 二千五百万石

當該企業ニ關係セル本邦人數 三九名
 過去三ヶ年間造材高及本邦向輸出額

昭和十一年	昭和十年	昭和十一年	昭和十年
造材高	造材高	輸出額	輸出額
二二八五七一	二三九五六八	二二五二四五	二六八九九四
	石		石
		一、四五七一三五	一、五六六五五〇
			石
			全上金額(内地沖渡値)

昭和十二年	昭和十一年	昭和十年
計	計	計
二七六五三四	七四四六七三	七六五三六二
一、九二〇、五一九	四九四四、二〇四	

三、會社役員數 取締役二名 監査役一名計三名、全部邦人
 三、昭和十三年度本邦向輸出見込額

造材高 輸出高 全上金額(内地沖渡値)
 二四〇〇〇〇石 二四〇〇〇〇石 二、四〇〇、〇〇〇

四、本邦ニ於ケル事務所 所在地参照

代表者 水尾 豊

五、其ノ他參考トナルベキ事項

(イ)設備

トラクタ一二臺、機關車七臺、臺車三百臺、軌道四十軒、
 多量ト十三雙、事務所、病院、鐵工場、貯木場、其ノ他ノ
 設備完備

(ロ)拓務省ノ徳瀨ニ依リ伐採跡地五千町歩ニパルプ資材ノ植林ヲ爲シ
 ツツアリ



5221-1

2229

61



5221-1

2228

南洋水産株式会社

一名 稱 南洋水産株式会社

所在地 比律賓マニラ市

事業地 比律賓ツンボアンガ市

資本金 三十萬圓

取得セル利権ノ内容

ツンボアンガ市ニ事業所ヲ有スルシーフツド、コーホレーシヨ
(Seafoods Corporation)ノ投資會社ニシテ直接事業ヲ營マス

當該企業ニ關係セル本邦人數 七〇名

過去三年間ノ生産額及本邦向輸出額 ナシ

三會社役員數 シーフツド、コーホレーシヨ、取締役

七名 内邦人二名

三昭和十三年度本邦向輸出額豫想 ナシ

四本邦ニ於ケル事務所

東京市麴町區丸ノ内 丸ビル内

代表者 植 木 憲 吉

五其ノ他參考トナルベキ事項

シーフツド、コーホレーシヨハ昭和十一年六月マニラ市ニ於テ創立
セラレ昭和十二年七月ヨリツンボアンガニ於テ事業ヲ開始製品ハ全部
露、蘭、罐詰ニシテ全部北米合衆國ニ輸出ス



5221-1

2231

62



5221-1

2230

E-0533

0080

水産株式会社

一、名 稱 水産株式会社
 所在地 東京市麹町區丸ノ内二丁目二番地
 事業地 英領北水産、多マ、パンギル島、パンギル島
 資本金 公稱資本 二百五十万圓
 拂込資本 百四十万圓
 取得セリ利權ノ内容 租借年限九百九十九年
 面積 三三エーカー

パンギル島 計 一五〇エーカー
 三三エーカー

當該企業ニ關係セル本邦人数 三六一名 (昭和十二年十月末現在)
 過去三年間ノ生産額及本邦向輸出額

年次	生産額 (罐詰及節)		本邦向輸出額 (節)	
	數量	金額	數量	金額
自昭和十九年十一月	一、〇七四	四九〇、六九〇	一、一五二	三〇八、一三一
自昭和二十年十一月	三、六五五	七八三、六七三	六、五八二	二六三、二三六
自昭和二十一年十一月	四、〇六五	八〇三、六三八	六、四八六	二一四、三七七
計	九、七六九	二、〇七六、〇〇一	二、五二二	七八四、七四四

三、會社役員數 取締役 五名 (全部邦人)

三、昭和十三年 (自昭和十二年十一月) 本邦向輸出見込額

數量 六〇〇〇圓

價額 一八〇〇〇〇圓 (一函當リ三〇圓)

四、本邦ニ於ケル事務所所在地参照

代表者 植木 憲吉

其ノ他參考トナルベキ事項

S 5221-1

2233

63

S 5221-1

2232

E-0533

0081

(4) 生産品ノ中其ノ一半ハ輸出トシテ内地へ輸入ス
(5) 本邦向書出品タル経節ハ爾今漸減シ漁獲物ノ大部分ヲ歐米向ケ輸出
詰ニ製造シ一層國際收支ニ貢献セシムル方針ナリ

64



5221-1

2234

E-0533

0082

南洋鐵鑛株式會社

一名 稱 南洋鐵鑛株式會社

所在地 東京市麩町區丸ノ内一ノ二ノ一 日本鑛管出張所内

事業地 馬來半島

資本金 百貳拾萬圓

取得セル利權ノ内容

種 類 採鑛權

存續年限 二十一年間

面積 大約二百十一英反

當該企業ニ關係セル本邦人數 約三十五名

生産額

鐵鑛石 約六〇、〇〇〇噸（本年初メテ生産ヲ開始ス）

本邦向輸出額

鐵鑛石 數量約五〇、四八〇噸（本年六月中旬輸出開始）

價額約三五三、三六〇圓（現地沖渡一噸ニ付七圓ノ割）

三 會社役員數 取締役七名 監査役三名 計十名 全部邦人

三 昭和十三年度本邦向輸出見込額

鐵鑛石 數量 二〇〇、〇〇〇噸見込

價 額 一、四〇〇、〇〇〇圓見込

（現地沖渡一噸ニ付七圓ノ割）

四 本邦ニ於ケル事務所 所在地ニ全シ

代表者 白石元治郎

S 5221-1

2236

65 S 5221-1

2235

E-0533

0083

大洋鑛業株式会社

一名 稱 大洋鑛業株式会社

所在地 大阪市東區北濱五丁目二十二番地

事業地 佛領ニニノカレドニア

資本金 三十萬圓

取得セル利権ノ内容

所有鑛區 OH1-OH11 一〇一ヘクタール ニツケル鑛

イヅ、マラバール、サンジャン三鑛區面積不詳ニツケル鑛

試掘 Moha ping 州十二口 ニ三四九ヘクタール ニツケル鑛

所有鑛區 Pilon 六口 一〇一五ヘクタール（面積不詳）金、

銅、瀧俺、ニツケル、クローム鑛

當該企業ニ關係セル本邦人數 五〇名

過去ノ生産額

ニツケル鑛石三五%^{四五%}一、一五四噸九四一庇

（但シ當會社ノ設立ハ昭和十年十月一日ニシテ現在迄ノ生産額）

ニ會社役員數 取締役六名、監査役二名計八名全部邦人

三昭和十三年度本邦向輸出見込額

從來ノ年産額壹萬噸ヲ來年度ヨリ貳萬噸ニ増大シ全量ヲ本邦向輸出ヲナス

見込ナリ

四本邦ニ於ケル事務所 所在地ニ全ジ

代表者 中村 房次郎



5221-1

2238

66



5221-1

2237

E-0533

0084

三菱商事株式会社

一名 稱

所在地 東京市麹町區丸の内二ノ一〇

事業地 マニラ、新嘉坡、盛谷、スラバヤ

資本金 三千萬圓

取得セル利權ノ内容

當該企業ニ關係セル本邦人數

マニラ出張所 七名

新嘉坡 ” 一三名

盛谷 ” 六名

スラバヤ ” 九名

計三五名

過去三年間ノ生産額及本邦兩輸出額

取引額	マニラ出張所 千圓	新嘉坡出張所 千圓	盛谷出張所 千圓	スラバヤ出張所 千圓
自昭和九年十月 至十二年九月	一三九六三	六七三九八	五八六九	四一、三〇四
本邦向輸出額				
自昭和九年十月 至十二年九月	一、〇一五	一、四九九	四〇〇九	二五三一三

三、會社役員數 取締役 四名 全部邦人

三、昭和十三年度本邦向輸出額豫想

マニラ出張所 六一七千圓

新嘉坡出張所 八、七三〇千圓

盛谷出張所 二、〇〇八千圓

スラバヤ出張所 一五、一四〇千圓

四、本邦ニ於ケル事務所

代表者 船田 一雄

S 5221-1

2240

67 S 5221-1

2239

E-0533

0085

南太平洋貿易株式會社

一名 南太平洋貿易株式會社

所在地 本 社 南洋群島

東京事務所 東京市麹町區内山下町一ノ一 (東洋ビル)

大阪出張所 大阪市西區西長堀北通三ノ一 (富本ビル)

蘭印事務所 蘭領印度セレベス島マナド市

蘭領印度セレベス島ソノ他島嶼

四、五五七、〇〇〇圓

右ノ内金三、一一七、〇二一圓二二八昭和十二年八月

大藏省ヨリ送金許可ヲ得三回ニ亘リ之ヲ事業地ニ送り

目下貿易其ノ他ノ資金トシテ運轉中ナリ

當社ハ昭和十二年五月十七日ノ創立ニシテ目下基礎工

作中ニ屬ス故ニ左ニ當社創立ニ到ル迄ノ沿革ヲ示スベ

事業地

實際投資額

沿革

蘭領印度東部地方ノ中セレベス地方ハ比較的早クヨリ

邦人事業家ニ依リテ注目セラレ就中同地方ハ椰子ノ栽
培ニ適シコブラハ蘭印ニ於ケル生産總額ノ約七割ヲ制
スル主要事業ナルヲ以テ吾ガ事業家ニ依リテモ種々企
劃セラレタル處ナルガ其ノ中セレベス興業株式會社 (一
資本金二百萬圓内拂込百萬圓)ノ經營ニ屬スルミナハ
サ州所在マシキツト椰子園ハ現在椰子樹十萬本ヲ有シ
大部分結實期ニ達シ且ツコブラ貿易ニ於テモ多年ノ經
験ト地盤トヲ有シ昭和十年以來南洋興發株式會社ト提
携シテコブラ貿易ヲ目的トスルセレベス興業合資會社
(資本金二十三萬圓)ヲ設立シ良好ナル成績ヲ收メ又
其ノ所屬船舶ハ蘭印各港ニ自由ニ出入スル權利ヲ有シ
コブラ其他貨客ノ輸送ニ任シ來レル處ナリ
然レドモ今ヤ同地方ニ對スル吾ガ事業的發展ノ重要性
ニ鑑ミルトキハ此等ノ機構ヲ以テシテハ到底不允分タ
ルヲ免レザルヲ以テ茲ニ新ニ資本金一千萬圓 (第一
回拂込金二百五十萬圓)ノ株式會社ヲ設立シセレベス興

S 5221-1

2242

68

S 5221-1

2241

E-0533

0086

事業ノ現況

業株式会社ノ椰子園ヲ買收擴張シ又セレベス興業合資
會社ヲ別働隊トシテコブラ貿易ノ擴張ヲ行ヒ更ニ進
デ各種栽培事業、牧畜、水産、製糖、鑛業、電氣事業
等有望ナル諸事業ノ開發ニ勉メ又同地方ニ於ケル邦人
事業家ヲ援助シ同地方ニ對シ確實ナル産業開發ノ歩
進ムルニ於テハ吾ガ經濟的南方發展ニ貢獻スル處眞ニ
絶大ナルモノアルベキヲ信ジテ茲ニ各方面ノ要望ニ從
ヒ新會社ノ設立ヲ見ルニ至レル所以ナリ
昭和十二年五月十七日當社ノ創立ヲ見ルヤ間モナク支
那事變勃發シ資金運用上少カラザル障礙ヲ被リタルモ
最モ堅實有利ノ商策ニヨリ着々業績ヲ高メ今マ全ク
基礎工事ヲ完了シタリ
即チ昭和十二年五月十七日ヨリ昭和十二年九月三十日
ニ至ル第一期事業概況ニツキ之ヲ見レバ
一貿易 本期コブラ貿易ハ實際ニ營業ヲ行ヒタル期間

5221-1

2243

三農園

極メテ短期ナリシニ拘ラズ各要地ニ於テコブラ
ヲノ集貨ニ努メ略々豫定通りノ買付ヲ行フト
共ニ販賣方面ニ於テモ良好ナル成績ヲ收メ前
途益々發展ヲ期待シ得ルニ至リタリ
コブラ以外ノ一般貿易ニ就テモ漸次取扱高ヲ
増加スルト共ニ新設路ノ請拓ヲ行ヒ將來ノ飛
躍ヲ期シツツアリ
創業ト同時ニセレベス興業株式会社ヨリセレ
ベス島ミナハヤ州マニツト椰子園並ニ其附
屬物一切ヲ買收シ經營ヲ進メツツアルガ同園
ノ椰子樹ハ漸次結實期ニ入り且ツ從來共管理
行届キ成績極メテ順調ナリ
海運事業ハ所屬船二隻ヲ以テ貨客ノ輸送ヲ行
ヒ好成績ヲ收メタルガ更ニ二隻ヲ建造シテ本
事業ノ擴張ヲ行フコトトセリ而シテ十二月ニ

2244

5221-1



E-0533

0087

將來ノ事業計劃

入ルヤ更ニ新ニ一隻ノ新造船ヲ事業地ニ廻航
シ海運方面ノ充實ヲ圖ルト共ニ新タニ中央亞
細亞貿易實現計劃熟シタルヲ以テ大阪ニ出張
所ヲ開設シ目下事業進捗中ナリ

内南洋諸島ニ於ケルコブラ貿易及椰子園經營、外南洋
ニ於ケル椰子園ノ買收、中央亞細亞諸國トノ貿易等計
劃事業ハ全面的ニ順調ニ進行中ナリ即チ昭和十三年度
マナド支店取扱コブラ豫定額ニツキテ見レバ年額七萬
二千噸（金一千八百萬圓）ノ中本邦向輸出豫定量ハ其
ノ二割タル一萬四千四百噸（金三百六十萬圓）ノ豫定
ナリ

三會社役員數 取締役六名 監査役二名 計八名 全部邦人
三本邦ニ於ケル事務所 所在地参照
代 表 者 松 江 春 次



金貨ダリヤス會社比島インコネレテド

一名稱 金貨ダリヤス會社比島インコネレテド

所在地 比律賓群島マニラ市トンド區アスカラカ街五二九一五四

三號

事業地

資本金 六十万比

取得セル利權ノ内容

所有土地 マニラ市 十万平方米

ミンダナオ島 二百七十町歩

當該企業ニ關係セル本邦人數 五五名

過去三年間ノ生産額

年生産額 ダリヤス綿布等 一百五十万比

三會社役員數 取締役三名 全部邦人

三昭和十三年度本邦向輸出額見込 不明

四本邦ニ於ケル事務所 不明

代表者 北島正平

S 5221-1

2247

71 S 5221-1

2246

E-0533

0089

パリンタウツタ麥酒株式會社

一、名 稱 パリンタウツタ麥酒株式會社

所 在 地 比律賓マニラ三井物産支店內

事 業 地 マニラ市郊外

資 本 金 百萬ペソ

取得セル利權ノ内容 會社ノ存續期間ハ現地法律ニヨリ五十ヶ年以下ニ

限定セラル

工場敷地面積ハ〇〇六四平方米突買收済

當該企業ニ關係セル本邦人數 約一〇名

過去三年間ノ生産額及本邦向輸出額 目下工場建築中ニテ明年(昭和

十三年)五月竣工ノ豫定、製品賣出ハ明年九月頃ノ見込

二、會社役員數 九名 内邦人六名

三、昭和十三年度本邦向輸出 無シ

四、本邦ニ於ケル事務所 三井物産株式會社内

代 表 者 河 村 雅 次 郎

72



5221-1

2248

E-0533

0090

照合票

件名 記録

通二機第二四七號

昭和十五年六月九日

發信者 松島通商局長

受信者 農林省
岸畜産局長

件名

飼料配給会社三團三件

原書ハ左記ニ在リ

記

E門3類7項0目

J1 號

本邦輸入禁止制限干渉件



5221-1

2249

E-0533

0091

寫

關參滿發日二四六號
 通州諸會社ノ北支蒙疆方面進出ニ關スル件
 昭和十三年六月十七日 關東軍參謀長代理 石原莞爾
 大使館參事官 加藤 外松 殿
 首題ノ件ニ關シ當軍ノ方針別紙寫參考通牒ス

在滿日本帝國大使館

(12. 11. 50.000 鈔山紙)



5221-1

2251

分類 E 2-2-1, 7

東亞局
 通商局
 公機密第八〇三號
 昭和十三年六月二十二日
 在滿洲國
 特命全權大使 植田 謙
 外務大臣 宇垣 一成 殿
 滿洲諸會社ノ北支蒙疆方面進出ニ關スル件
 本件ニ關シ今般關東軍石原參謀長代理ヨリ別添寫ノ通通報越セル
 ニ付御參考迄右茲ニ送付ス

在滿日本帝國大使館

(12. 11. 50.000 鈔山紙)



5221-1

2250

第一課

名件

外に送付

昭和十三年六月廿七日

別紙添付

E-0533

0092

滿洲諸會社ノ北支蒙疆方面進出ニ關スル件

昭和二三、六一〇
關東軍司令部

一、方針

滿洲諸會社ノ北支蒙疆方面ヘノ進出ハ會社ノ特性ニ應シ滿洲國國防上又ハ産業建設上支障ヲ生セサル範圍ニ於テ、北支蒙疆ト滿洲國トノ關聯上特ニ必要ヲ認ムル場合其最小限度ニ於テ之ヲ認ム

二、要領

1. 北支蒙疆ヘノ進出ハ資金又ハ製品等ニ限定シ資材ハ滿洲國ノ需要ニ支障ナキ範圍ニ於テ特ニ必要ヲ認メタル場合之ヲ認ム
2. 人員ノ進出交流ハ已ムヲ得サルモノノ外認メサルヲ原則トシ進出人員ハ其轉屬身分ヲ明カナラシムルモノトス
3. 個々會社ノ問題ニ關シテハ其都度右方針ニ準據シ審議決定スルモノトス

在滿日本帝國大使館

(12. 11. 50.000 結川納)



5221-1

2252

E-0533

0093

極秘

寫
備
重責
滿洲國駐在軍事務
機密關係維持ニ在リ

類E門2項2頁/日3

昭和13 一八八四五 暗 哈爾濱 六月三十日後發
本省 三十日夜着

宇垣外務大臣 鶴見總領事

第一四五號(至急、部外秘)
加瀬、土田兩書記官へ

元黒河領事館事務所ヲ今回國策會社タル興安公司名義ニテ借入ルル
コトトナレルカ右ハ表面上ノ建前ニシテ内實ハ同地特務機關カ中央
ノ命ニ依リ極秘裡ニ將來ノ對蘇問題ノ研究ノ爲使用スルモノナル處
家主カ當地ニ居住シ居ル關係上右借家契約ニ付本官仲介斡旋ノ勞ヲ
執リ來レルカ今般黒河特務機關ニ於テ種々事情ヲ考慮シ本官ニ興安
公司名義上ノ代表者タルコトヲ依頼スルヲ適當ト認メ本官ノ承諾ヲ
求ムル爲同機關ヨリ關東軍當局及當地特務機關ニ電稟スルコトトナ
レル旨在黒河豐原副領事ヨリ當方へ電報ノ次第アリ次テ當地特務機
關ヨリ本官ニ右ノ申出アリタリ

外務省

13.6 S 5221-1 2253

記録件名

は(シ)

本官カ假令名義上トハ言へ同機關ノ代表者トナルハ官吏服務規律上
如何カトハ存セラルルモ本件極秘ノ性質ニ鑑ミ軍側トシテモ民間ノ
者ニ依頼スルコトモ出來マシク又當方ニ於テ右申出ヲ承諾シ置カハ
將來黒河領事ノ事務遂行上各種ノ便宜アルヘキヲ以テ本官限りニ於
テ且又個人ノ資格ヲ以テ前記申出ヲ承諾スルコト得策ト思考セラ
ル處本省ノ御内意承知致度シ先方へ回答ノ都合モアリ何分ノ儀至急
御回電ヲ請フ
在滿加藤參事官及黒河へ轉電セリ

外務省

13.6 S 5221-1 2254

E-0533

0094

(分類 E2, 2, 1, 3)

照合票

通告機第一〇二二號

昭和十三年七月七日

發信者 宇垣大臣

受信者 在外公館

件名 飼料配給會社三箇三件

原書ハ左記ニ在リ

記 E門4類3項2目8號 畜産関係雜件

S 5221-1

2256

(分類 E2, 2, 1, 3)

照合票

暗電第九五八號

昭和十三年六月廿日

發信者 北京 塘内参事官

受信者 宇垣大臣

件名 麻薬製造會社設立說三箇三件

原書ハ左記ニ在リ

記 E門4類4項1目1號

外國ニ於テ麻薬品及藥物関係雜件

S 5221-1

2255

E-0533

0095

發信用執務用			
主信	3	1	4
附	甲		
	乙		
	丙		
屬	丁		
備考	分類 E22/3		

懸案

文書課長

文書課發送 昭和拾三年七月拾四日發送濟

淨書

正校(原稿)

(淨書)

主 亞米利加局長
管 第一課長
米一機第 第一〇四九號 昭和拾三年七月拾四日 附 附屬

受 在米 齋菱大使
人 在桑港 塩崎總領事
名 在ホトランド 吉田領事

信 在米 齋菱大使
名 在桑港 塩崎總領事
名 在ホトランド 吉田領事

件 米丕製糖工場見奉方ニ関スル件

名 米丕製糖工場見奉方ニ関スル件

塩水港製糖株式会社ニ於テハ業務ノ参考ニ資スル為

本社技師ヲシテ工場宛繼續約ニ三日ノ日程ヲ以テ

左記工場ノ全般ヲ見奉セシメ度キ意嚮ヲ有シ居リ

公 信 案 外 務 省

米丕側ニ於テ右見奉ヲ許可スル事ヲ慥メタル上明
年二月乃至六月ノ間ニ本社技師二名乃至四名ヲ渡
米セシメ度キ趣ヲ以テ今般全社ヨリ右見奉ノ可能
性取調方願出有之タルニ付右可然ヲ筋ハ而般全ノ
上結果何分之儀至急市回報相成度

記

Hawaiian & Californian Sugar Corp.
Crocketts factory
San Francisco

S 5221-1

2258

(18.2 1)

S 5221-1

2257

12.161

E-0533

0096

公 信 案	Great Western Sugar Co. Denver factory Denver, Cal.
	Great Western Sugar Co. Wheatland factory Wheatland, Wyoming
外 務 省	本信送付先 在米大使 在桑港總領事 在ポートランド領事
	(記三工場名ノ中 在米大使宛ノ分ニハ三工場名全部ヲ記入、桑港宛ノ分ニハ才一及才ニ工場名ノ之、ポートランド宛ノ分ニハ才三工場名ノ之記入ノト)



5221-1

2259

E-0533

0097

E-0533

0098

逋幸。森田ニス。
 森田 繁
 松平 正輝
 日本製糖株式会社
 東京市板谷区一丁目六番地
 電話 四一六五
 島根県 松江市 三三三番
 電話 四三三三
 日本製糖株式会社
 東京市板谷区一丁目六番地
 電話 四一六五
 島根県 松江市 三三三番
 電話 四三三三

昭和 年 月 日

		Hawaiian & Californian Sugar Corp.	Crockett factory	San Francisco.
工 物 合 司 二 三 日 位 (Successor)	Portland.	Great Western Sugar Co.	Denver factory	Denver, Co!
		"	Wheatland factory	Wheatland, Wyoming
		0139 2P 1311 112 139 5月		

諸君
 此糖
 明年二月五至六月一箇
 一ヶ所継続ニ三日位先
 上記三工場一全般ノ見
 此糖希少有ハ先方
 是等許方不此等ノ糖
 積米ノ知ヲ欲フハ
 右見方取テヤ香ヤ田合
 此果糖田答テ
 鎌田

5221-1 2260

E-0533



編者附言
原書
A 116.30119
支那事
古蹟地内花政存

寫

昭和13 二三一三〇 暗 上海 八月八日後發
本省 八日夜着

宇垣外務大臣 日高總領事

第二四二一號

貴電第一二四五號ニ關シ(華中恒産會社株式割當ノ件)

往電第二三三七號所報紡績出資五百萬圓以外ニ現地法人中ヨリ百萬圓程度ノ出納力アリト認メラルルニ依リ右ハ紡績ノミニテ不取敢會社ヲ設立セル上引續ギ増資ノ形ニテ參加セシムルコトト爲シ居レルニ付(地價値上リニ依リ投機的賣買ヲ防止スル爲本會社ニ付テハ紡績以外ニ一切話シ居ラス)其ノ際東亞等ヲ參加セシムル餘地ナキニアラス但シ東亞カ出(資)トシテ當込ミ居ル資金ハ例ノ大藏省銀資金ニシテ之ヲ本會社ニ出資スルカ如キ場合ハ豫メ大藏省ノ認可ヲ要スヘキハ御承知ノ通りナリ

北京、天津、青島へ轉電セリ

外務省

(H本標準規格B5) S 5221-1 2260-1

讀者附言
原書在左記
9/2/2
中口港灣修築
手帳

寫

E2.2.13

昭和13 二三五六三 暗 上海 八月十一日後發
本省 十一日夜着

宇垣外務大臣 日高總領事

第二四五六號

都市港灣建設及恒産會社計畫ニ關シ陸軍中央ヨリ係官上京ノ上打合ハスヘキ旨電報アリタル趣ニテ陸海軍係官内務省技術者ト共ニ十四日着京十五日各本省へ説明十六、十七、十八三日間第三委員會ニテ説明十九日離京ノ豫定ヲ以テ上京スルコトトナレリ當方係官上京ハ未定ニ付書類ハ一行(山王「ホテル」宿泊)ヨリ受取ラレ度シ

北京、天津へ轉電セリ

外務省

(H本標準規格B5) S 5221-1 2261

E-0533

0100

大臣
次官

電信課長
森

寫送先

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文化 調查 人事 儀典 文書 會計 會社 祕書官

分類 E 2-2-1-3

昭和13 二五八七七 暗 上海 九月三日後發 本省 三日夜着 亞

宇垣外務大臣

第二六八〇號

後藤總領事代理

上海恒産會社ハ十日成立ノ豫定ナルカ之カ役員ノ人選ハ振興會社ノ子會社タル關係モアリ社長及副社長ハ之ヲ暫ク空位トシ置クコト他ノ既設子會社ト同様トスルモ成立ニ當リ假社長タルヘキ常務サヘモ見當ラサルニ付東京ヘ至急人選方申送ルト共ニ不取敢然ルヘキ日本入又ハ支那人ヲ假ニ常務トシ創立ヲ爲スコトニ打合セタリ會社ハ從來ノ他ノ會社ト異リ實業家ノ關係セル者ナク主トシテ都市計畫技術家等ノ立案セルモノナルカ會社經營ハ非常ニ六ヶ敷キコトハ推察ノ

外務省

S 5221-1

2262

通りニシテ本會社ノ成功不成功ハ其ノ方面ノ適任者ヲ得ルヤ否ヤニ存スト言フモ過言ニアラス東京ニ於テ大至急此ノ種事業經營ニ經驗アル人物ヲ選定ノ上支障ナク所期ノ目的ヲ達スル様致度シ委細陸軍電ニ依リ御承知ノ上本件至急實現方御配慮相成度シ北京ヘ暗送セリ

外務省

S 5221-1

2263

E-0533



(分類 E 221.3)

照合票

亞細亞
第一三九一號

昭和拾陸年九月廿六日

發信者 宇垣大臣

受信者 安子合館主任 錦州領事

件名 新東洋行ニ對スル調査囑託方ノ件
(横濱地方裁判所ヨリノ囑託)

原書ハ左記ニ在リ

記

刀門ノ類ノ項ノ目ノ
號 司法共助昇係種件



5221-1

2265

(分類 E 2, 1, 3)

照合票

電
第七二二號

昭和十五年九月十五日

發信者 在青島
大鷹總領事

受信者 宇垣大臣

件名 海州塩業株式會社設立手係

原書ハ左記ニ在リ

記

刀門ノ類ノ項ノ目ノ2ノ號

中國塩輸入手係
青島ノ郵



5221-1

2264

E-0533

0102

昭和三十二年十一月十一日
有田外務大臣
第一八六號(極秘)

字

E2.2.1.1

昭和三十二年十一月十一日午後
三三二一八 暗
カイロ 十一月十一日
本省 十二日
横山公使

有田外務大臣
第一八六號(極秘)

貴電第七六號ニ關シ(埃及棉花輸出會社ニ關スル件)

一、會社ハ日埃貿易會社ノ如キ名ヲ附シ差當リハ對日輸出棉花ノミヲ
取扱フモ將來ハ他ノ商品ヲモ取扱ヒ各兩國間ノ各種工作ニモ活動
シ度キ希望ヲ有ス

二、現在ノ計畫ニテハ資本金一萬磅ノ合資會社ニテ藏相ノ側近者タル
一下院議員「ミスル」銀行重役外一名(以上三名ハ藏相ノ身變リ
ニテ名義上ノミノ出資)及「シクレル」棉花商會主(實際上ノ出
資)ヨリ構成シ差當リ我方ノ出資ヲ期待シ居ラサルモ將來ノ問題
トシテハ之ヲ排斥スルモノニアラス

三、「ミスル」トハ前記重役ヲ通シ協力ス(了)

外務省

(日本標準規格B5) 5221-1 2265-1

E-0533

0103

(分類 E2,2,1,3)

照合票

改訂
第五四號

昭和十五年七月十一日

發信者 有田大臣

受信者 在野の
原田領事

件名

南園護謨株式會社、陳情ニ關スル件

原書ハ左記ニ在リ

記

E門分類多項/目々 號護謨手帳

S 5221-1

2267

(分類 E 2.2.1.3)

照合票

電
第三三三九號

昭和十五年五月七日

發信者

在野
高橋

受信者 有田大臣

件名

「ブロードウェイ、マニラ」の運賃取上
關スル件
恒産會社

原書ハ左記ニ在リ

記

E門分類/項目/目々 號

各國之在野の運賃取上關スル件

S 5221-1

2266

E-0533

0104

照合票

電

第二〇號

昭和十三年十二月五日

發信者

原田鍾市

受信者 折田大臣

件名

南國護謨株式會社陳情ニ關スル件

原書ハ左記ニ在リ

記

E門4類3項/目4 號 護謨 牙係

記録
件名

5221-1

2268



照合票

人機密第一八三九號

昭和十三年十二月十三日

發信者

澤田外務次官

受信者 兄見如閣書記官長

件名 工田外務書記官ニ北支那開發株式會社及

中支那振興株式會社政府出資財産評價委員會等

原書ハ左記ニ在リ

記

M門2類1項/目

22號

中樞並省外各種委員會諸公
委員役員等件宛附家

5221-1



記録
件名

E-0533

0105

寫送先

01	02	03	04
05	06	07	08
09	10	11	12
13	14	15	16
17	18	19	20
21	22	23	24
25	26	27	28
29	30	31	32

大臣 次官
 東京 亞細亞 歐洲 米商 條約 情報 文化 調查 人事 儀典

電信課長

極秘

本館合記

外省

昭和13 三六三四五 暗 北京 十二月十三日後發 亞、通

有田外務大臣 堀内參事官

第一八〇三號 部外秘

當館經濟部囑託星野ガ日本鑛業會社北京駐在員武田ヨリ得タル情報ニ依レバ今回同社ハ軍ノ了解ノ下ニ左記ノ如ク積極的ニ北支進出ヲ行フコトトナレル趣ナリ御參考迄

一子會社トシテ大陸鑛業會社(日本法人、資本金五百萬圓、本社北京)ヲ設立シ長城金鑛會社(同様日本鑛業會社ノ子會社、資本金三十萬圓、本社新京、九月廿六日附機密第一〇六四號往信ヲ以テ報告濟)ノ事業ヲ全面的ニ繼承シテ河北省遵化縣下ノ金鑛開發ニ



5221-1

2270



E-0533

0106

極秘

電信課長

大臣

次官

東亞

歐亞

米洲

通商

條約

情報

文書

調查

人事

儀典

文書

會計

秘書

先送

分類 E 2-2.13

昭和13 三六三四五 暗 北京 十二月十三日後發 亞、通

有田外務大臣 堀内參事官

第一八〇三號 部外秘

當館經濟部囑託星野ガ日本鑛業會社北京駐在員武田ヨリ得タル情報ニ依レバ今回同社ハ軍ノ了解ノ下ニ左記ノ如ク積極的ニ北支進出ヲ行フコトナレル趣ナリ御參考迄

子會社トシテ大陸鑛業會社(日本法人、資本金五百萬圓、本社北京)ヲ設立シ長城鑛業會社(同様日本鑛業會社ノ子會社、資本金三十萬圓、本社新京、九月廿六日附機密第一〇六四號往信ヲ以テ

本信寫挿入先

門類	項目	號
0	0	0

面的ニ繼承シテ河北省遵化縣下ノ金鑛開發ニ

外務省

S

5221-1

2270

記

E-0533

0107

當ル外更ニ廣ク北支金屬工業ニ乗出サントス
ニ日本鑛業會社が大正九年以來鑛業權ヲ獲得シ來レル大。安。山。炭。田（
北京ノ西方五十五軒、鑛量八十萬噸以上ト稱セラル）ヲ開發スル
コトトナリ第一期計畫トシテ昭和十六年度ニ於テ年産三十萬噸ノ
良質無煙炭ヲ得ベク着々準備中ナリ又石炭搬出ノ爲山元ヨリ京漢
線坨里驛迄三十軒ノ廣軌鐵道ヲモ會社ノ手ニ依リ建設スル豫定ニ
テ右ニ要スル資金炭鑛開發費三五〇萬圓、鐵道建設費四〇〇萬圓
ハ日鑛自身ニテ調達シ所要器材（炭鑛用一四〇萬圓、鐵道建設用
一九〇萬圓）ハ全部日本製品ヲ使用スル計畫ノ由本件ハ當分ノ間
部外秘トセラレタシ

上海、天津、青島、濟南へ轉電セリ

外
務
省



5221-1

2271

E-0533

0108

公 信 案

外 務 省

5221-1 2273

トナリタルヲ趣ヲ以テ別紙寫ノ通 依頼越シノ次第
 アリタルニ付テハ委曲有ニテ御了悉ノ上可然御取
 計相成度
 別添 三月十七日野崎商店末信寫作 成ノ上
 夫ニ添付送付ノ事ト

主信	7	1	8
附甲	7	1	8
附乙			
附丙			
附丁			
備考	榮類 E22 / 3		

大 次
 東亞局長
 歐亞局長
 亞米利加局長
 條約局長
 情報部部長
 文化事業部長
 調査部部長
 人事課長
 會計課長
 電信課長
 翻譯課長
 勅任事務官
 通商局第一課長
 通商局第二課長
 通商局第三課長
 通商局第四課長
 通商局第五課長
 通商局第六課長

文書課長

文書課發送昭和拾參年貳月廿參日發送濟

主 通商局長
 主 勅任事務官
 主 通商局第二課長

昭 和 拾 參 年 貳 月 廿 參 日
 日 附 附 屬

正校(原稿) (淨書)

有 新 中 大 臣
 通 商 局 長

各領事
 在ハバタヤ、香港各總領事
 在蘭頁、孟買、ベント
 ホーランド、コロンボ

便直供與ニ附ナル件

今般 当地株式会社野崎商店ハ輸出業務
 擴張ノ為 全店員ヲ貴地方面ニ派遣スルコト

5221-1 2272 22 99

通商局 第一課 第二課 第三課 第四課 第五課 第六課

E-0533

0109

社 會 式 株
野 崎 商 店

七七函書私局様本日
つに候之有店商の名内に町同
〜函書私記上卒何は信通御き

地番五十目丁四町本區橋本市京東
番三九六一四番二九六一(本日本日電話)
番三一七四 番二九八一
(ノ)ハ 或 (ノト) 號路電發
(キザノクカヒシバンホニ) 號路電受
號七七第函書私局様本日

Kobe	L.	Dec.	10
Shanghai	A.	"	12
	L.	"	13
Hongkong	A.	"	15
	L.	"	15
Manila	A.	"	17
	L.	"	29
Surabaya	A.	Jan.	6
	L.	"	11
Samarang	A.	"	11
	L.	"	14
Cheribon	A.	"	14
	L.	"	16
Batavia	A.	"	16
	L.	"	21
Singapore	A.	"	23
	L.	"	25
Bangkok	A.	"	27
	L.	Feb.	8
Penang	A.	"	9
	L.	"	11
Rangoon	A.	"	14
	L.	"	18
Calcutta	A.	"	21
	L.	Mar.	1
Agra	A.	"	2
	L.	"	9
Delhi	A.	"	9
	L.	"	16
Lahore	A.	"	17
	L.	"	23
Agra	A.	"	24
	L.	"	25
Bombay	A.	"	26
	L.	Apr.	1

出張員訪問地及豫定日
記
此旨も御移牒被下度候
先は右御依頼迄如斯御座候

敬 具

店 大阪市西區阿波座番町十三番地
天津 日本租界漢路街二六



5221-1

2275

(候上頭に宛店商て凡は信通御の上引取)

13. 11. 10000 (K)

社 會 式 株
野 崎 商 店

七七函書私局様本日
つに候之有店商の名内に町同
〜函書私記上卒何は信通御き

地番五十目丁四町本區橋本市京東
番三九六一四番二九六一(本日本日電話)
番三一七四 番二九八一
(ノ)ハ 或 (ノト) 號路電發
(キザノクカヒシバンホニ) 號路電受
號七七第函書私局様本日

外務省通商局
御 中
拜啓愈々御隆昌之段奉賀候 弊店儀毎々格別之御高配賜り難有
御禮申上候
擧弊店も時局狀勢に鑑み輸出振興の實を擧げ度、今般輸出業務
を擴張仕り、新規取引先獲得・市場情勢の把握等の目的にて、
輸出部主任逆瀬川陸輝を本月十日神戸出帆のシヤルンホルスト
號にて一路海外出張の途に着かせ候 而して其の出張先及發着
日は別記の如くに御座候 就ては行先地所在の帝國領事館には
是非訪問の上種々有益なる御情報何はせ度、宜敷御高配の程願
上候 尙弊方と出張員との連絡の爲に郵便物留置先とてバタ
ビヤ・ラングーン・ボンベイ・ペイルト・ポルトサイド・コ
ロンボ・ホンコンにては帝國領事館を利用致させ戴き度候條、

通商局
第二課
昭和十三年十二月十七日

店 大阪市西區阿波座番町十三番地
天津 日本租界漢路街二六



5221-1

2274

(候上頭に宛店商て凡は信通御の上引取)

13. 11. 10000 (K)



E-0533



社 會 式 株

野 崎 商 店

地番五十五目丁四町本區橋本日本京東
番三九六一四番二九六一(株)本日本電
番三一七四 番二九八一(株)本日本電
(ノ)ハ 或(ノ)ト) 號路電受
(キザノクカヒシパンホニ) 號路電受
號七七第函書私局標本日

七七函書私局標本日
つに候之有店商の名同に内町同
〜函書私局上卒何は信通御き

Colombo	A.	"	15	Karachi	A.	Apr.	3
	L.	"	19		L.	"	9
Shingapore	A.	"	24	Basrah	A.	"	13
	L.	"	25		L.	"	14
Hongkong	A.	Jul.	30	Baghdad	A.	"	15
	L.	"	30		L.	"	24
Shanghai	A.	Aug.	2	Damascus	A.	"	25
	L.	"	3		L.	"	26
Kobe	A.	"	5	Alleppo	A.	"	26
					L.	"	30
				Beirut	A.	"	30
					L.	May.	8
				Haifa	A.	"	8
					L.	"	11
				Larnaca	A.	"	11
					L.	"	14
				Tel-Aviv	A.	"	15
					L.	"	20
				Alexandria	A.	"	21
					L.	"	30
				Port Said	A.	"	30
					L.	June	4
				Malta	A.	"	7
					L.	"	13
				Naples	A.	"	15
					L.	"	19
				Port Said	A.	"	23
				Suez	L.	"	24
				Colombo	A.	Jul.	4
					L.	"	5
				Madras	A.	"	7
					L.	"	13

支 店
〔大阪市西區阿波座約番町十三番地
天津日本租界漢路街二番地〕

(候上額に宛店商て凡は信通御の上引取)

13. 11. 10000 (K)



5221-1

2276

E-0533

0111

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp